シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	ファッションドローイングⅠ		
講義コード	D101		
開講責任部署	ファッションクリエイターコース		
講義開講時期	通年	講義区分	演習
基準単位数	2.00	時間	60.00
代表時限	３時限	代表曜日	水曜日
学年・クラス	17D	自習時間	30
選択必修区分	コース必修		
代表担当教員	横井　真弓		

意義と目的

ファッションデザイン画において、バランスの取れたプロポーションを描くことは大切な基本です。　基本の良い体の比例を練習する。

到達目標

・用紙のサイズに合わせて8頭身　9頭身を描く。　・着色でデザインイメージをさらに上げる。

方法

・基本のプロポーションを何度も練習。　・苦手、描けない所を個別指導する。

評価方法

・課題に合わせたデザイン提出　７０％　・時前授業（自習）課題　２０％　・授業態度　１０％

留意事項

・提出期限は必ず守る事　・雑誌、美術館などを見たり雑誌の切り抜きなどを収集して下さい。

教科書

書名1　著書名　　出版社　　書名2　　著書名　　出版社

参考文献

ファッション雑誌等

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	自分の思うスタイル画を描いてみる。基本スタイル　ファッションドローイングとは？説明	事後　基本スタイル練習
第2回	レディース正面プロポーション　8頭身練習	事後　授業の課題練習
第3回	レディース正面プロポーション	事後　授業の課題練習
第4回	レディース正面プロポーション	事後　授業の課題練習
第5回	レディース正面プロポーション	事後　授業の課題練習
第6回	レディース正面プロポーション	事後　授業の課題練習
第7回	レディース斜めプロポーション	事後　授業の課題練習
第8回	レディース斜めプロポーション	事後　授業の課題練習
第9回	レディース斜めプロポーション	事後　授業の課題練習
第10回	人体　各パーツ練習　顔	事後　授業の課題練習
第11回	人体　各パーツ練習　手・あし	事後　授業の課題練習
第12回	・全体まとめプロポーション ・手　足などポイントにスケッチ仕上げ	事後　授業２・出来なかった所の仕上げ
第13回	・用紙（B4）にスケッチ仕上げ	事前　下書き　事後　授業２・出来なかった所の仕上げ
第14回	・テーマに合わせてヌードボディ　・ペン入れ　プロポーション仕上げ	事後　授業で出来なかった所の仕上げ
第15回	・時間を区切ってスケッチ仕上げ　・正面斜め最終チェック	事後　夏休み課題
第16回	着色練習（色えんぴつ）	事後　授業時間に出来なかった所の仕上げ
第17回	着色練習（マーカー）	事後　授業時間に出来なかった所の仕上げ
第18回	着色練習（水彩絵具）	事後　授業時間に出来なかった所の仕上げ
第19回	着色仕上げ　スケッチ下書き	事後　授業時間に出来なかった所の仕上げ
第20回	テーマ別デザイン画（素材感）	事前　素材集め
第21回	テーマ別デザイン画（素材感）	事前　素材集め
第22回	テーマ別デザイン画（素材感）	事後　授業時間に出来なかった所の仕上げ
第23回	テーマ別デザイン画（写真参考）	事前　資料集め 事後　授業の課題練習
第24回	テーマ別デザイン画（写真参考）	事後　時間内に出来なかった所の仕上げ
第25回	テーマ別デザイン画（オリジナル）練習	事前　テーマを考える　資料集め
第26回	テーマ別デザイン画（オリジナル）練習	事後　授業時間内に出来なかった所練習
第27回	テーマ別デザイン画（オリジナル）練習	事前　提出する予定の所まで仕上げる
第28回	オリジナルデザイン仕上げ	事前　オリジナルテーマを考える
第29回	オリジナルデザイン仕上げ	事後　授業時間内に提出・出来る様に進めておく
第30回	オリジナルデザイン仕上げ	事前　時間内に出来る様に進めておく

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	ファッションアートⅠ		
講義コード	D102		
開講責任部署	ファッションクリエイターコース		
講義開講時期	通年	講義区分	実習
基準単位数	2.00	時間	90.00
代表時限	１時限	代表曜日	月曜日
学年・クラス	17D	自習時間	0
選択必修区分	コース必修		
代表担当教員	渡邉　加奈		

意義と目的

新しいファッションデザインを創造するための基盤として、既成概念にとらわれないモノの見方を身につけ、課題テーマに沿って創造性あふれる作品製作を行う。

到達目標

テーマに沿ってイメージを発想し、個性豊かな作品を製作し発表できる。

方法

各テーマに対した技法指導と表現方法を指導します。

評価方法

課題作品６０％　プレゼン２０％　授業態度２０％

留意事項

授業だけでなく毎日の生活の中で情報収集をする習慣をつけてください。
授業課題は指定日に必ず提出してください。欠席の場合は、必ず課題の確認をし、提出日に出せるようにしてください。

教科書

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	概要説明	
第2回	カラー・フォト分析ワーク	資料収集
第3回	カラー・フォト分析ワークプレゼン	資料まとめ
第4回	堀先生講座	資料収集
第5回	堀先生講座	資料収集
第6回	堀先生講座	資料収集
第7回	付属品の扱いかた	資料収集
第8回	付属品の扱いかた	課題のまとめ
第9回	表現法の研究①　研究	資料収集
第10回	表現法の研究①　プレゼン	資料収集
第11回	表現法の研究②　研究	資料収集
第12回	表現法の研究②　プレゼン	資料収集
第13回	表現法の研究③　研究	資料収集
第14回	表現法の研究③　プレゼン	資料収集
第15回	染色研究	染色について調べる
第16回	染色研究	染色について調べる
第17回	手芸・工芸の研究	手芸・工芸について調べる
第18回	手芸・工芸の研究	手芸・工芸について調べる
第19回	手芸・工芸の研究	手芸・工芸について調べる
第20回	手芸・工芸の研究　まとめとプレゼン	課題のまとめ、発表準備
第21回	ポートフォリオ用パーツ製作	資料収集とサンプル材料あつめ
第22回	ポートフォリオ用パーツ製作	資料収集とサンプル材料あつめ
第23回	ポートフォリオ用パーツ製作	資料収集とサンプル材料あつめ
第24回	堀先生講座	資料、材料あつめ
第25回	堀先生講座	資料、材料あつめ
第26回	堀先生講座	まとめ
第27回	表現法の研究④	服飾技法について調べる
第28回	表現法の研究④	服飾技法について調べる
第29回	表現法の研究④	服飾技法について調べる
第30回	表現法の研究④	服飾技法について調べる
第31回	表現法の研究④	服飾技法について調べる
第32回	表現法の研究④　まとめとプレゼン	
第33回	ポートフォリオ作成説明	情報収集
第34回	堀先生講座	資料、材料収集
第35回	堀先生講座	資料、材料収集
第36回	堀先生講座	まとめ
第37回	ポートフォリオ作成①棚卸しと分析	課題をノートにまとめる
第38回	ポートフォリオ作成②分析とキーワード	課題をノートにまとめる
第39回	ポートフォリオ作成③キーワードとテーマ	課題をノートにまとめる
第40回	ポートフォリオ作成④テーマと情報収集	課題をノートにまとめる
第41回	ポートフォリオ作成⑤マップ制作	課題をノートにまとめる
第42回	ポートフォリオ作成⑥マップ制作とデザイン	課題をノートにまとめる
第43回	ポートフォリオ作成⑦デザイン画	課題をノートにまとめる
第44回	ポートフォリオ作成⑧技法研究	課題をノートにまとめる、発表準備
第45回	ポートフォリオ作成⑨プレゼン	課題をノートにまとめる、発表準備

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	生活と倫理		
講義コード	D103		
開講責任部署	ファッションクリエイターコース		
講義開講時期	通年	講義区分	演習
基準単位数	2.00	時間	60.00
代表時限	１時限	代表曜日	水曜日
学年・クラス	17D	自習時間	30
選択必修区分	専攻必修		
代表担当教員	渡邉　加奈		

意義と目的

社会生活を送る上で必要不可欠な常識やマナー、大学生活を送る上で必要な論述力などの基礎力を養う。イベントや作品発表といった様々な行事を通して学生の主体性、協調性も培いたい。

到達目標

一般常識、マナー、コミュニケーション力、基礎論述力、主体性、協調性をもって行動できる。

方法

一般常識や論述力は小テストやレポート作成などで確認する。マナー、主体性、協調性は行事や生活指導をとおして指導教員が一人一人に対して適切な助言を行う。

評価方法

レポート課題５０％　行事参加３０％　授業態度２０％

留意事項

大学の授業ではレポート課題が多くなります。　参考文献を積極的に利用しましょう。

教科書

参考文献

河野哲也著「レポート・論文の書き方入門」、深井晃子著「ファッション・キーワード」

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	履修指導、クラス指導	学生便覧の確認
第2回	履修指導、クラス指導（自己紹介、クラス委員）	学生便覧の確認
第3回	図書館、学生相談室の利用について	
第4回	個人面談　　個人学習計画表	学習成果との位置づけ
第5回	個人面談　　個人学習計画表	学習成果との位置づけ
第6回	プレゼンテーション準備	プレゼンテーションの資料あつめ
第7回	ファッションショー準備	プレゼンテーションの資料あつめ
第8回	ファッションショー準備	プレゼン準備
第9回	ファッションショー準備	プレゼン準備
第10回	性教育講演（予定）	課題のまとめ
第11回	プレゼンテーション発表	課題のまとめ
第12回	プレゼンテーション発表	課題のまとめ
第13回	プレゼンテーション発表	課題のまとめ
第14回	プレゼンテーション発表	課題のまとめ
第15回	定期試験説明と注意事項	自己点検
第16回	後期履修変更の確認	後期授業科目の確認（シラバス
第17回	個人面談	後期の目標
第18回	個人面談	後期の目標
第19回	大学祭準備	クラスの企画立案
第20回	大学祭準備	クラスの企画立案
第21回	参考資料「モード・エ・モード」よりテーマを探す	資料あつめ
第22回	参考資料のまとめ方	木下是雄著「レポートの組み立て方」 参考資料「ファッション・キーワード」資料あつめ
第23回	各自の研究レポートの発表	課題のまとめ
第24回	ポートフォリオの作り方	資料収集
第25回	ポートフォリオの作り方	資料整理
第26回	インターンシップ事前指導	自己点検、準備
第27回	卒論口頭発表聴講	課題のまとめ
第28回	卒論口頭発表聴講	課題のまとめ
第29回	インターンシップ事前指導	書類の確認
第30回	進路について、学習成果振り返りシート	自分の将来像を考える

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	英会話		
講義コード	D104		
開講責任部署	ファッションクリエイターコース		
講義開講時期	通年	講義区分	演習
基準単位数	2.00	時間	60.00
代表時限	２時限	代表曜日	水曜日
学年・クラス	17D	自習時間	30
選択必修区分	選択		
代表担当教員	ステファン　レポールド		

意義と目的

This is a practical English class aimed at improving students speaking and listening skills through pairwork practice and discussion, in addition to developing fundamental writing skills

到達目標

The goal is to develop skills in basic conversation, by providing language models that are used in everyday conversation and discussion.

方法

Activating students' use of English through a variety of tasks performed in an interactive, communicative environment.

評価方法

Exams 50%　Quiz 30%　Homework 10%　Participation 10%

留意事項

Students must come on time, be prepared (textbooks, notebook, pen), and make an effort.

教科書

Textbook: American Headway Starter
Author: Liz & John Soars
Oxford University Press
ISBN: 978-0-19-435387-8

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	Introductions: Getting to know you	
第2回	Self-Introductions	
第3回	Reading and speaking/ everyday English	
第4回	Reading and speaking/ everyday English part 2	
第5回	My Hometown	
第6回	Shopping expressions	
第7回	The Market place	
第8回	Quiz # 1	
第9回	Family Talk	
第10回	Hobbies and Interests	
第11回	Traveling Abroad	
第12回	Traveling Part II	
第13回	Video: Greetings & basic expressions	
第14回	Pair work conversation practice	
第15回	Exam: Paired conversation	
第16回	My summer vacation	
第17回	Being famous	
第18回	Reading and speaking/ Everyday English	
第19回	Describing things	
第20回	Describing people	
第21回	Dates, times and schedules	
第22回	My daily routine	
第23回	Prepositions of place	
第24回	Quiz #2	
第25回	Giving and asking for directions	
第26回	Entertainment	
第27回	My Future Dreams	
第28回	Video: short conversation analysis	
第29回	Pair work conversation practice	
第30回	Exam: Paired conversation	

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	キャリアデザイン		
講義コード	D105		
開講責任部署	ファッションクリエイターコース		
講義開講時期	通年	講義区分	講義
基準単位数	2.00	時間	60.00
代表時限	４時限	代表曜日	火曜日
学年・クラス	17D	自習時間	30
選択必修区分	コース必修		
代表担当教員	堀井　厚		

意義と目的

自己分析・社会研究を行い、自身の価値観を確立して卒業後の生き方や働き方をプランニングし、有意義な大学生活を送ることを目的とします。併せて就職試験対策を行ないます。

到達目標

２０１８年１月迄に「卒業後に希望する進路」を決定し、就職試験に臨む準備が整っていること 及び 本授業で設定した標準レベル就職能力テストに合格することを目標とします。

方法

オリジナルのテキストに準拠して授業を進行します。毎回予習すべき箇所の解説を行い、小テストでその成果を確認します。理解できるまでテストを繰り返します。

評価方法

前後期期末試験　50%
ＳＰＩ対策小テスト　30%
課題提出物　10%
授業態度　10%

留意事項

できなかった事をとがめるつもりはありませんが、やらなかった事についてはペナルティを課し、評価に反映させます。地道な毎日の積み重ねが大切です。

教科書

ＮＦＣＣ　キャリアデザイン＆就職活動２０１９

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	キャリアデザインとは 授業の進め方 進路選択の手順	ＳＰＩ課題処理
第2回	アセスメントツールによる自己分析 一般職業適性検査	ＳＰＩ予習 ＳＰＩ課題処理
第3回	自己分析 自己の振り返り 観察	ＳＰＩ予習 ＳＰＩ課題処理
第4回	求める人物像（社会・企業） 社会人基礎力 個性との適合	ＳＰＩ予習 ＳＰＩ課題処理
第5回	雇用形態 景気動向 人口問題（日本の少子高齢化）	ＳＰＩ予習 ＳＰＩ課題処理
第6回	心理学と社会 法学と社会 経済学と社会	ＳＰＩ予習 ＳＰＩ課題処理
第7回	業種・業界研究 キャリアインサイト	ＳＰＩ予習 ＳＰＩ課題処理
第8回	ビジネスマナー	ＳＰＩ予習 ＳＰＩ課題処理
第9回	言葉遣い	ＳＰＩ予習 ＳＰＩ課題処理
第10回	会社の仕組み 給与・年収・生涯収入・生涯支出	ＳＰＩ予習 ＳＰＩ課題処理
第11回	社会保険の基礎知識	ＳＰＩ予習 ＳＰＩ課題処理
第12回	マーケティング 損益計算	ＳＰＩ予習 ＳＰＩ課題処理
第13回	志望動機 自己ＰＲ	ＳＰＩ予習 ＳＰＩ課題処理
第14回	履歴書 エントリーシート	ＳＰＩ予習 ＳＰＩ課題処理
第15回	前期の総括	ＳＰＩ予習 ＳＰＩ課題処理
第16回	就職試験の仕組み 就職試験の動向と対策（総論）	ＳＰＩ予習 ＳＰＩ課題処理
第17回	思考テスト・ＩＱテスト対策	ＳＰＩ予習 ＳＰＩ課題処理
第18回	性格適性検査対策 ＳＰＩ・ＣＡＢ・ＧＡＢ・ＹＧテスト・クレペリン・・・	ＳＰＩ予習 ＳＰＩ課題処理
第19回	ＳＰＩ性格適性試験模擬試験	ＳＰＩ予習 ＳＰＩ課題処理
第20回	内定者講演会	ＳＰＩ予習 ＳＰＩ課題処理
第21回	論作文対策	ＳＰＩ予習 ＳＰＩ課題処理
第22回	敬称 手紙・電子メール・電話のマナー	ＳＰＩ予習 ＳＰＩ課題処理
第23回	求人票の見方 給与の手取り額の計算	ＳＰＩ予習 ＳＰＩ課題処理
第24回	リクルート活動の身だしなみ 就職活動メイクアップ講座	ＳＰＩ予習 ＳＰＩ課題処理
第25回	面接対策	ＳＰＩ予習 ＳＰＩ課題処理
第26回	学内企業展	ＳＰＩ予習 ＳＰＩ課題処理
第27回	ＳＰＩ模擬試験（言語問題）	ＳＰＩ予習 ＳＰＩ課題処理
第28回	ＳＰＩ模擬試験（非言語問題）	ＳＰＩ予習 ＳＰＩ課題処理
第29回	ＣＡＢ模擬試験	ＳＰＩ予習 ＳＰＩ課題処理
第30回	後期総括	ＳＰＩ予習 ＳＰＩ課題処理

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	造形の基礎		
講義コード	D201		
開講責任部署	ファッションクリエイターコース		
講義開講時期	前期	講義区分	実習
基準単位数	2.00	時間	60.00
代表時限	３時限	代表曜日	金曜日
学年・クラス	17D	自習時間	30
選択必修区分	コース必修		
代表担当教員	川澄　晶子		

意義と目的

衣服の基本的な構成やパターン、縫製を理解し、専門職に必要な知識や技術を習得する。

到達目標

基本的な縫製方法を身に付け、スカート、パンツの製作ができる。

方法

教科書を使用。サンプルとデモンストレーションによる解説後、各自で実践してもらう。

評価方法

製作作品　60%
パターン　20%
授業態度　20%

留意事項

製作していく上での疑問点は必ず質問し、その都度解決すること。実習授業なので用具の使用や教材の管理には注意し、片付けは協力して行うこと。

教科書

書名：被服構成
著者名：名古屋文化短期大学被服構成研究室

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	衣服の構造 用語の説明	授業内容の復習
第2回	ミシンの使い方 基礎縫い①（縫い方）	授業内容の復習と実践
第3回	基礎縫い②（縫い代始末）	授業内容の復習と実践
第4回	基礎縫い③（まつり縫い）	授業内容の復習と実践
第5回	基礎縫い④（ボタン、ホック付け）	授業内容の復習と実践
第6回	スカート　デザイン、採寸	デザインを考える
第7回	パターン①（原型）	授業内容の復習と実践
第8回	パターン②（展開）	授業内容の復習と実践
第9回	パターン③（縫い代付け、完成パターン）	授業内容の復習と実践
第10回	裁断①（地直し、前スカート、後スカート）	生地、付属の用意 授業内容の復習と実践
第11回	裁断②（見返し、他パーツ） 芯張り	授業内容の復習と実践
第12回	縫製①（縫い代始末）	授業内容の復習と実践
第13回	縫製②（ファスナー付け）	授業内容の復習と実践
第14回	縫製③（前スカート、後スカート）	授業内容の復習と実践
第15回	縫製④（ウエスト始末）	授業内容の復習と実践
第16回	縫製⑤（裾）	授業内容の復習と実践
第17回	仕上げ 着装評価	トータルコーディネートを考える
第18回	パンツ　デザイン、採寸	デザインを考える
第19回	パターン①（原型）	授業内容の復習と実践
第20回	パターン②（展開）	授業内容の復習と実践
第21回	仮縫い（シーチング）	授業内容の復習と実践
第22回	パターン③（修正、縫い代付け、完成パターン）	授業内容の復習と実践
第23回	裁断①（地直し、前パンツ、後パンツ）	生地、付属の用意 授業内容の復習と実践
第24回	裁断②（ベルト、他パーツ） 芯張り	授業内容の復習と実践
第25回	縫製①（縫い代始末）	授業内容の復習と実践
第26回	縫製②（ファスナー付け）	授業内容の復習と実践
第27回	縫製③（前パンツ、後パンツ）	授業内容の復習と実践
第28回	縫製④（ウエスト始末）	授業内容の復習と実践
第29回	縫製⑤（裾）	授業内容の復習と実践
第30回	仕上げ 着装評価	トータルコーディネートを考える

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	被服材料学		
講義コード	D202		
開講責任部署	ファッションクリエイターコース		
講義開講時期	前期	講義区分	講義
基準単位数	2.00	時間	30.00
代表時限	１時限	代表曜日	木曜日
学年・クラス	17D	自習時間	60
選択必修区分	選択		
代表担当教員	小野　幸一		

意義と目的

素材は造形の三要素のひとつで、アパレルと商品企画には絶対必要です。素材がもつ意味と重要性を習得します。

到達目標

アパレルと商品企画における意味と重要性が理解でき、身近にあるアパレルにおいて素材を常に意識できるようになる。また、
日々進歩している素材技術についてつねに関心を持つことができる。

方法

授業はプロジェクターを使用し、内容を現在のファッションに合わせてわかりやすく説明する。出来るだけ事例をビジュアルに示す。

評価方法

試験　70%
ビデオレポート　20%
授業態度　10%

留意事項

教科書

生活材料学
安藤文子他
㈱アイ・ケイコーポレーション

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	繊維製品の品質表示	所有のアパレルの品質表示を確認
第2回	生活環境と人間	中学・高校時のファッションについて考える
第3回	天然繊維　　綿	綿のアパレルを探す 綿ビデオレポート
第4回	天然繊維　麻	麻ビデオについてレポート
第5回	天然繊維　毛	毛ビデオについてレポート
第6回	天然繊維　絹	絹のビデオについてレポート
第7回	化学繊維　再生繊維・半合成繊維	身近にある化学繊維（レーヨン・アセテート）について考える
第8回	化学繊維　ナイロン	身近にある化学繊維(ナイロン）について考える
第9回	化学繊維　ポリエステル・アクリル	身近にある化学繊維（ポリエステル・アクリル）について考える
第10回	化学繊維　その他の合成繊維	身近ににあるその他の繊維（ポリウレタン等）について考える
第11回	糸	実際に織物に使用されている糸をよく見てみる
第12回	糸	実際に織物から糸を取りだしてみる
第13回	織物	自分が所有しているアパレルの素材名を調べる
第14回	織物	自分が所有しているアパレルの素材名を調べる
第15回	編み物・レース・その他材料	自分が所有している、編み物やレースを調べる

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	ファッションビジネス概論		
講義コード	D203		
開講責任部署	ファッションクリエイターコース		
講義開講時期	前期	講義区分	講義
基準単位数	2.00	時間	30.00
代表時限	３時限	代表曜日	月曜日
学年・クラス	17D	自習時間	60
選択必修区分	選択		
代表担当教員	小野　幸一		

意義と目的

ファッションビジネス業界の中心はアパレル業界とファッション小売業である。勿論中心はアパレル（衣服）である。アパレルの流通は長く、複雑であるのでその仕組みを理解す

到達目標

将来販売職として就職した際、小売の専門職とし必要な流通の基本知識を身につけることができる。

方法

プロジェクターを用い内容説明。重要な点は教科書にマークさせる。
事前に講義内容ＰＤＦをipadにＵＰさせておく。

評価方法

期末試験　60%
小テスト２回　30%
授業態度　10%

留意事項

テキストはかならず購入して下さい。
かなり専門用語があります。わからない点はかならず質問して下さい。

教科書

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	ファッション・ビジネスの概要	身近なファッションについて考える
第2回	ファッション・ビジネスの概要	身近なファッションについて考える
第3回	ファッション・ビジネスの概要	身近なファッションについて考える
第4回	ファッション消費と消費者行動	身近なファッションについて考える
第5回	ファッション消費と消費者行動	ファッション商品購入場所を検討する
第6回	アパレル産業と小売業	好きなブランド、店を挙げてみる
第7回	ファッション・マーケティング	名古屋の各店舗のターゲットを調べる
第8回	ファッション・マーケティング	名古屋の各店舗のターゲットを調べる
第9回	ファッション・マーチャンダイジング	名古屋の店のディスプレイについて調べる
第10回	ファッション流通	専門店について調べる
第11回	ビジネス基礎知識	決算報告書を調べる
第12回	デザインの定義と特性	「美」とは何かを考える
第13回	ファツション・コーディネーション	今日のコーディネートを述べる
第14回	ファツション商品知識	ワードローブを調査
第15回	ファツション商品知識	素材の復習

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	伝統工芸とエシカルファッション		
講義コード	D204		
開講責任部署	ファッションクリエイターコース		
講義開講時期	前期	講義区分	演習
基準単位数	1.00	時間	30.00
代表時限	２時限	代表曜日	木曜日
学年・クラス	17D	自習時間	15
選択必修区分	選択		
代表担当教員	渡邉　加奈		

意義と目的

ファションクリエイターとして創造するための基本として、日本の伝統工芸やエシカルファッションとは何かを知るとともに、ものづくりの考え方の基礎を身に着ける。

到達目標

日本の代表的な伝統工芸の名称と内容がわかる。
エシカルファッションとは何か理解し説明することができる。

方法

伝統工芸品を解説し、体験的することで理解を深めます。エシカルファッションをテーマに課題作品制作をすることで、問題点や課題を理解します。

評価方法

課題レポート２０％　製作課題６０％　授業態度２０％

留意事項

資料を集めたり、サンプルを製作したりしながらまとめのノート製作をします。
サンプル管理、レポート用資料管理に注意してください。

教科書

参考文献

ザ・トゥルー・コスト

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	伝統工芸とは	伝統工芸について調べる
第2回	日本の伝統工芸	伝統工芸についてまとめる
第3回	伝統工芸研究①	サンプル製作
第4回	伝統工芸研究②	サンプル製作
第5回	伝統工芸研究③	サンプル製作
第6回	伝統工芸研究のまとめ プレゼン	資料をまとめる
第7回	エシカルファッションとは	エシカルファッションについて調べる
第8回	フェアトレードとは	フェアトレードについて調べる
第9回	エシカルを考える①	情報収集
第10回	エシカルを考える②	情報収集
第11回	エシカルファッション研究①	情報収集と資料作成
第12回	エシカルファッション研究②	情報収集と資料作成
第13回	エシカルファッション研究③	情報収集と資料作成
第14回	エシカルファッション研究④	情報収集と資料作成
第15回	エシカルファッションのまとめ 発表と評価	資料をまとめる

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	トレンドディレクションⅠ		
講義コード	D205		
開講責任部署	ファッションクリエイターコース		
講義開講時期	前期	講義区分	講義
基準単位数	2.00	時間	30.00
代表時限	２時限	代表曜日	月曜日
学年・クラス	17D	自習時間	60
選択必修区分	コース必修		
代表担当教員	安藤　美奈子		

意義と目的

ファッションは様々な要素（色・素材・デザインなど）の組み合わせで表現される。それらについての基礎知識を学んだ上で、自分でトレンドを分析し、予測する。

到達目標

①ファッションの基礎知識を習得する。②自分でトレンドが分析できるようになる。③さらに、予測ができるようになる。

方法

実習を主体に進める。各自の考えと個性を大切にするため、指導は個別に行う。インターネットのデザイナーズコレクションの写真を使い、パワーポイントでまとめ、自分の考えを発表する。

評価方法

製作作品とプレゼンテーション（50%）、小テスト（30%）、授業態度（20%）

留意事項

実習を契機に、ファッションに関する客観的な「分析力」を身につけること、感じたことをヴィジュアルやことばを使って分かりやすく伝える「表現力」を養うこと。

教科書

書名1　著書名　　出版社　　書名2　　著書名　　出版社

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	ファッションとは、ファッション業界の流れ、トレンドの背景	事後：トレンドの背景となるキーワードを考える
第2回	今春夏のファッショントレンドの解説	事後：今シーズンのファッショントレンドを見つける
第3回	ファッションの基礎知識	事後：身の回りのファッションと基礎知識を結びつける
第4回	ファッションの基礎知識	事後：身の回りのファッションと基礎知識を結びつける
第5回	ファッションの基礎知識	事後：身の回りのファッションと基礎知識を結びつける
第6回	小テスト、来秋冬トレンド分析（実習）	事前：ファッションの基礎知識の復習 事後：デザイナーズコレクションに目を通す
第7回	来秋冬トレンド分析（実習）	事前・事後：デザイナーズコレクションに目を通し、分析作業を進める
第8回	来秋冬トレンド分析（実習）	事前・事後：デザイナーズコレクションに目を通し、分析作業を進める
第9回	来秋冬トレンド分析（実習）	事前・事後：デザイナーズコレクションに目を通し、分析作業を進める
第10回	来秋冬トレンド分析（実習）	事前・事後：デザイナーズコレクションに目を通し、分析作業を進める
第11回	来秋冬トレンド分析（実習）	事前・事後：デザイナーズコレクションに目を通し、分析作業を進める
第12回	来秋冬トレンド分析（実習）、市場調査実施の説明	**事前：分析作業を進める** **事後：発表の準備**
第13回	小テスト、来秋冬トレンド分析と予測の発表（各自）	**事前：発表の準備**
第14回	来秋冬トレンド分析と予測の発表（各自）	**事前：発表の準備**
第15回	**来秋冬のトレンド分析の解説**	事前：自分と人の分析を比較し、不足点を考える

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	色彩学		
講義コード	D206		
開講責任部署	ファッションクリエイターコース		
講義開講時期	前期	講義区分	講義
基準単位数	2.00	時間	30.00
代表時限	４時限	代表曜日	水曜日
学年・クラス	17D	自習時間	60
選択必修区分	選択		
代表担当教員	丸山　眞澄		

意義と目的

視覚情報として重要な色彩の役割を理解するため、カラーに関する基礎と応用の知識を習得する。

到達目標

　感覚だけで色彩を扱うのでなく、色彩の基本的な知識を学ぶことで正しく豊かに活用できる力と感性を養い、色彩能力検定３級を受験できる。

方法

　テキスト・カラー教材を使い理論をビジュアルで理解させ深める。同時にＡ・Ｆ・Ｔ色彩検定3級取得のための受験対策をする。

評価方法

期末試験（80%）
課題提出（10%）
授業態度（10%）

留意事項

・理解できない箇所は書き出して質問してください。

教科書

書名1　色彩検定　公式テキスト　３級編 著書名　　社）全国服飾教育者連合会（Ａ・Ｆ・Ｔ）　出版社　　㈱Ａ・Ｆ・Ｔ企画
書名2　　著書名　　出版社

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	色のはたらき・光と色	各講義に該当するポイントチェック問題を事前に教室外でも学習し、次回の小テストに備える。
第2回	光と色（光の性質と色）	事前：色のはたらき・光と色（p1～3）
第3回	光と色（眼の仕組み・照明）	事前：光と色（眼の仕組み・照明と色の見え方・混色）(p3～6)
第4回	光と色（混色）	事前：色の表示（色の分類と三属性・ＰＣＣＳ）(p6～11)
第5回	色の表示（三属性・ＰＣＣＳ）	0
第6回	色の表示（ＰＣＣＳ・トーン）	事前：色の表示（言葉による色の表示）色彩心理（色の心理的効果・慣用色名）（p11～14・p26.27）
第7回	色の表示（ＰＣＣＳ色相環と各色相トーン表作成）	0
第8回	色名・慣用色名・色彩心理	事前：色彩心理（色の視覚効果）（p14～16）
第9回	色彩心理（視覚効果・対比・同化）	事前：色彩調和（p16～20）
第10回	色彩調和	事前：色彩調和・色彩と生活（p20～22）
第11回	色彩調和・生活と色彩	事前：ファッションと色彩（p22～24）
第12回	ファッションと色彩	事前：インテリアと色彩（p24～25）
第13回	インテリアと色彩	0
第14回	３級内容のまとめ	0
第15回	３級模擬試験と解説	0

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	ビジネスマナー		
講義コード	D207		
開講責任部署	ファッションクリエイターコース		
講義開講時期	前期	講義区分	演習
基準単位数	1.00	時間	30.00
代表時限	３時限	代表曜日	火曜日
学年・クラス	17D	自習時間	15
選択必修区分	コース必修		
代表担当教員	市川　麻波		

意義と目的

サービス接遇検定２級取得を目指すと同時に「接遇スキル」「一般常識」を習得し、就職活動につなげる

到達目標

「顧客満足度」について理解し、お客様に満足を提供できる行動を取ることができる

方法

事例研究と情報共有、ロールプレイングを通し実践力をつける

評価方法

課題提出　３０％　小テスト　２０％　期末テスト　５０％

留意事項

教科書に掲載されている事例を自分事と捉え、実生活（学校生活・アルバイト先）でも同様のことが起こった時に気付くこと

教科書

書名1 サービス接遇検定受験ガイド　２級 著書名　公益財団法人　実務技能検定協会　出版社　早稲田教育出版 書名2　　著書名　　出版社

参考文献

サービス接遇検定　実問題集　１－２級

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	サービス接遇検定を知る	事前：初回授業までに教科書を読んでおくこと
第2回	サービススタッフの資質・必要要件とは	事後：素敵な先輩探し
第3回	サービス・商業・経済についての理解	事後：販売用語・経済用語を見つける
第4回	一般常識	事後：時事問題の整理
第5回	小テスト	事前：教科書Ｐ68までの復習
第6回	接遇知識	事後：接遇用語の事例探索
第7回	小テスト	事前：教科書Ｐ108までの復習
第8回	問題処理	事後：事例探索
第9回	環境整備	事後：事例探索
第10回	金品管理・社交業務	事後：事例探索
第11回	小テスト	事前：教科書Ｐ145までの復習
第12回	言葉遣い（敬語と好印象な話し方）	事後：敬語ワークシートの活用
第13回	小テスト	事前：教科書Ｐ145までの復習
第14回	サービス接遇検定の活用について	事後：希望業界と職種の探索
第15回	就職活動の心構え	事後：自己の特性整理

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	創造性の開発		
講義コード	D208		
開講責任部署	ファッションクリエイターコース		
講義開講時期	前期	講義区分	演習
基準単位数	2.00	時間	30.00
代表時限	３時限	代表曜日	木曜日
学年・クラス	17D	自習時間	60
選択必修区分	選択		
代表担当教員	太田　寿江		

意義と目的

いつも見慣れているモノから新しい見方や美を発見し、既成概念に捉われない発想力や多面的なモノの見方を養う。さらに異なる価値観の理解力を養う。

到達目標

・多面的なモノの見方ができる。・作品として表現できる。・他者の異なる見方を理解できる。

方法

一つのキーワードから様々な発想をし、主にマップ制作を通して表現する。さらに他者の作品から感じることを話し合い、多様な見方があることを体験的に習得する。

評価方法

作品及びプレゼンテーション（７０％）、ポートフォリオ等（２０％）、授業態度（１０％）

留意事項

身のまわりのモノを常に意識し、創造力を高め、柔軟な頭を創ってほしい。

教科書

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	既成概念の自覚、キーワード発想、発想ノートについて	事後：マップ構想、資料収集
第2回	マップ制作（課題１）	事後：プレゼンの準備
第3回	マップ制作、プレゼンテーション	関連：資料収集
第4回	プレゼンテーション、次の課題について	事後：構想、資料収集
第5回	創造性に関する映像等	関連：構想、資料収集
第6回	マップ制作（課題２）	関連：プレゼンの準備
第7回	マップ制作、プレゼンテーション	事後：資料収集
第8回	プレゼンテーション、次の課題について	事後：構想、資料収集
第9回	色を探す（課題３）：色の変化があまりないように見えるものから多様な色を見つけ出し、デザインする。	関連：構想、資料収集
第10回	創造性に関する映像等、最終課題について	関連：構想、資料収集
第11回	最終課題：ダンボールを主材料としてイメージを発想し、マップ等の作品を制作する	事後：構想、資料収集
第12回	ダンボールからの発想、発想ノートの作成	関連：構想、資料収集
第13回	ダンボールからの発想、発想ノートの作成	事前：資料収集、プレゼンの準備
第14回	最終作品プレゼンテーション	事後：これまでの作品を振り返る
第15回	最終作品プレゼンテーション、創造性を考える	事前：創造性について考える

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	異文化の理解		
講義コード	D209		
開講責任部署	ファッションクリエイターコース		
講義開講時期	前期	講義区分	演習
基準単位数	2.00	時間	60.00
代表時限	１時限	代表曜日	火曜日
学年・クラス	17D	自習時間	30
選択必修区分	選択		
代表担当教員	吉村　いづみ		

意義と目的

ポートランド語学研修参加者を対象として、アメリカの生活や文化に関する基礎知識や二週間の滞在に必要な英語表現を学ぶ。

到達目標

アメリカの文化や生活習慣を理解していること。アメリカで生活できる基礎的な英語表現を習得していること。

方法

講義と英語演習を行う。テキストに書き入れながら、授業を受け、使えそうな表現は別のノートか単語カードに記入し、ポートランドに持参してほしい。

評価方法

小テスト20%。定期試験40%。レポート40%。

留意事項

この授業は夏に開催される「ポートランド語学研修」に参加する学生を対象としています。研修に参加しないと単位が取得できません。

教科書

異文化の理解　テキスト＆留学ハンドブック

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	イントロダクション	アメリカとはどのような国か？まとめておこう
第2回	出国、機内、入国審査	ESTAやパスポートの取得計画を立てよう
第3回	両替、ドル、ATMの利用	クレジットカードを取得するか、現金を持参するか考えておこう
第4回	英文の手紙の書き方	実際にいくつかのパラグラフを作って、自分を表現する英語を覚えよう。
第5回	電話をする。道を尋ねる	外国人に道を聞かれても、答えられるようになろう。
第6回	ホストファミリー宅（基本ルール）	ホストファミリーで使える英語を整理しておこう
第7回	ホストファミリー宅（生活一般）	ホストファミリーで使える英語を整理しておこう
第8回	体調不良、病気に関する表現	自分が体調不良時に使える英語を整理しておこう
第9回	日本について話す/日本料理の作り方を説明する	日本について聞かれる質問を考え、英語で答えてみよう
第10回	バス、電車の乗り方	ポートランドの交通手段を調べておこう。
第11回	ファストフードとレストラン	アメリカのファストフードのメニューをインターネットでチェックしておこう。
第12回	英語で楽しくショッピング	ポートランドのダウンタウンにある店をインターネットでチェックしておこう。
第13回	PSUの授業、英語のジェスチャーとあいづち	PSUについて調べておこう。
第14回	郵便の送り方、帰国前日の準備	学んだ英語を覚えておこう。
第15回	出発前の最終説明	学んだこと、これから出発前までに準備することをまとめておこう

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	英語コミュニケーションⅠ		
講義コード	D210		
開講責任部署	ファッションクリエイターコース		
講義開講時期	前期	講義区分	演習
基準単位数	1.00	時間	30.00
代表時限	４時限	代表曜日	月曜日
学年・クラス	17D	自習時間	15
選択必修区分	選択		
代表担当教員	ステファン　レポールド		

意義と目的

The aim is to provide a foundation of English Language skills in Reading, Writing, Listening and Speaking, in order to best prepare students for the Test of English as a Foreign Language (TOEFL)

到達目標

The goal of this class is for students to develop good study habits in order to improve basic listening, speaking, reading and writing skills.

方法

Students will be required to work diligently in order to create a positive and energetic classroom

評価方法

Quizzes 40%　Final test 40%　Homework 20%

留意事項

Students must come on time, be prepared (textbooks, notebook, pen), and make an effort.

教科書

Textbook: English Firsthand 1 (The New English Firsthand Series)
Author: Marc Helgesen et al
Publisher: Pearson Longman
ISBN 978-988-00-3059-8

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	Personal Information: Self Introduction	
第2回	Describing People: My Family & friends	
第3回	Daily Activities and Routines	
第4回	Prepositions of Place	
第5回	Giving and asking for directions	
第6回	Talking about the past: what happened?	
第7回	Quiz#1	
第8回	Jobs and Occupations	
第9回	Entertainment (movies, music, plays etc...)	
第10回	Future plans: What are your dreams?	
第11回	Shopping expressions: How much is this?	
第12回	Processes: Giving instructions	
第13回	Video: Common greetings and expressions	
第14回	Preparation for final exam (TOEFL listening practice)	
第15回	Final Listening exam (TOEFL-based)	

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	英語コミュニケーションⅠ		
講義コード	D211		
開講責任部署	ファッションクリエイターコース		
講義開講時期	前期	講義区分	演習
基準単位数	1.00	時間	30.00
代表時限	４時限	代表曜日	月曜日
学年・クラス	17D	自習時間	15
選択必修区分	選択		
代表担当教員	ゴールズ　スティーヴン		

意義と目的

To develop and increase the overall English language level of the student in arder to prepare for the Test of English for International Communication(TOEIC)

到達目標

To learn how to communicate in English in a wide variety of situations and build confidence in using conversation English while also increasing vocabulary,grammus.

方法

By learning English from atextbook and using the English in presentations,group conversations and speaking,listening,reading exereises and tasks.

評価方法

Presentations-50% Eeports-30% class work-10% Quizzes-10%

留意事項

Presentations in English help build confidense while using English, but will aiso be aimed towards learning English,but will also be aimed towards learning Englis in a fun, useful and interesting way.

教科書

書名1 Intercchange students book1 著書名　Jack C.Richards 出版社　Jack C.Richards 書名2　Intechange CLASS AUDIO CD 1 (ONE)　著書名　Jack C.Richards　出版社　Cambridge

参考文献

Assorted media/TOEIC SHEETS (SUPPLIED By TEACHER)

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	Introduce yourself,talk abouto yourself and greethings. Learning basic introductions in English.	Review:write a self introduction.
第2回	learning haw to talk about your daily schedule,school and going opinions.	Preparation:prepare for an English Dresentation introducing yourself.
第3回	Shopping in English and discussing Preferences.	Review:write about your preferences and shopping.
第4回	Discussing likes and dislikes.	Preparation:Hake a speech of your likes and dislikes.
第5回	Talking in English about family and family life.	Review:write about your family.
第6回	Asking and discussing hobbies and routines.	Review:write about your hobbies and routines.
第7回	Talking about past experiences,vacations and Childhood.	Review:write about a childhood memory lexperience.
第8回	Asking about and talking about different locations.	Preparation:Make a Presentation about your hometown.
第9回	Describing peoples appearences.	Review:Describe someones appearance.
第10回	Discussing Past events.	Review:Describe someones appearance.
第11回	Discussing Cities and Places/countries.	Review:write about somewhere you want to go to.
第12回	Talking about health Problems and giving advice.	Review:write a letter of advice.
第13回	How to order food in a restaurant.	Review: write a restaurant review.
第14回	Expressing opinions in English and making Comparisons.	Preparation:Make a Presentation talking about your opinions.
第15回	Talking about future Plans and future wishes and hopes.	Preparation: make a presentation discussing your hopes for the future.

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	英語コミュニケーションⅠ		
講義コード	D212		
開講責任部署	ファッションクリエイターコース		
講義開講時期	前期	講義区分	演習
基準単位数	1.00	時間	30.00
代表時限	５時限	代表曜日	月曜日
学年・クラス	17D	自習時間	15
選択必修区分	選択		
代表担当教員	ゴールズ　スティーヴン		

意義と目的

To develop and use English to a level of daily fluency and prepare for the IELTS examination.

到達目標

To become fully able to communicate confidently in daily conversational English in a wide uariety of situations.

方法

Learning English conversation through the use of a textbook,presentations and class work.

評価方法

presentaion:! 50% Reports:40% Classwork:10%

留意事項

Students will be able to speak English confidently,while also understanding English in a comprehensive way.

教科書

書名1 Interchange students book1 著書名　Jack C.Richards 出版社　Jack C.Richards 書名2　Intechange CLASS AUDIO CD 1 (ONE)　著書名　Jack C.Richards　出版社　Jack C.Richards

参考文献

ＩＥＬＴＳ ｍａｔｅｒｉａｌ ｗｉｌｌ ｂｅ ｓｕｐｐｌｉｅｄ ｂｙ ｔｈｅ ｔｅａｃｈｅｒ.

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	Learning hou to exchange personal information and introducing yourself to others.	Preparetion:Give a presentation introducing yourself.
第2回	Learning hou to talk about school and work.	Review:write about your daily schedule.
第3回	Learning how to discuss buying and selling things,asking questions about items.	Review:write about something you want to buy.
第4回	learning how to talk about interests,making invitations.	Presentation:make a presentation on your likes and dislikes.
第5回	Learning how to exchange information about the present.	Review: Writing about stay at home dads(reading from exercise book)
第6回	Learning how to discuss frequency and ability.	Presentation:make a presentation taking about your favorite activities.
第7回	Learning how to talk about opinions and past experiences.	Review: Write about a vacation you took recently.
第8回	Learning how to ask questions and details about areas.	Presentation:make a presentation taking about your ideal place.
第9回	Leaning how to ask and give details about descriptions.	Review:Describe yourself.
第10回	Learning how to ask and answer questions about pastexperiences.	Review:Write about an amazing experience you had.
第11回	Learning to talk about world geography and asking for suggestions.	review:Write recommendations about Nagoya city.
第12回	Leaning how to make requests and how to discuss medical issues.	Presentation:In paris students make a doctor and patient presentation.
第13回	Learning how to express likes and dislikes,agreeing and disagreaing.	Review:Nake a restaurant menu using your likes and dislikes.
第14回	Learning how to express opinions and facts.	Review:Write an opinion article.
第15回	Learning how to discuss future plans.	Presentation:Make a presentation discussing your plans for next year.

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	情報処理演習Ｉ		
講義コード	D213		
開講責任部署	ファッションクリエイターコース		
講義開講時期	前期	講義区分	演習
基準単位数	1.00	時間	30.00
代表時限	２時限	代表曜日	金曜日
学年・クラス	17D	自習時間	15
選択必修区分	選択		
代表担当教員	山田　祥子		

意義と目的

実社会で必要となる情報処理技術を習得する。パソコンその他の情報機器の操作法をやワープロソフトに習熟し、事務文書や視覚効果のある文書など様々な文書作成能力を養う。

到達目標

日本情報処理検定協会の日本語ワープロ検定2級以上の技術の獲得。応用的文書が作成できる。

方法

教室の機器およびMicrosoft Wordを利用し実習する。タイピング練習ソフトを使用する。

評価方法

確認テスト（実技検定問題）40%
授業態度30%
課題作成20%
提出物10%

留意事項

タイピングは、一度に多くの時間をかけるのでなく、ソフトウェアを利用し、少しづつ、回数を多く自習してください。教室や自宅で練習できます。

教科書

日本語ワープロ検定試験模擬問題集2級・準2級（日本情報処理検定協会）

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	教室の機器の操作法、日本語入力	テキストの速度問題入力練習
第2回	TypeQuickによる入力練習、日本語入力（以後も随時）	TypeQuickによる入力練習
第3回	通信文レイアウトの説明。３級通信文作成	TypeQuickによる入力練習
第4回	表の作成。準２級通信文作成	TypeQuickによる入力練習
第5回	２級通信文作成	TypeQuickによる入力練習
第6回	２級通信文作成	TypeQuickによる入力練習
第7回	模擬問題集による通信文作成	TypeQuickによる入力練習
第8回	模擬問題集による通信文作成	模擬問題集による練習
第9回	模擬問題集による通信文作成	模擬問題集による練習
第10回	模擬問題集による通信文作成	模擬問題集による練習
第11回	模擬問題集による通信文作成	模擬問題集による練習
第12回	確認テスト（検定試験を兼ねる）	確認テスト自己採点、重点練習
第13回	応用的文書の作成	課題作成
第14回	応用的文書の作成	課題作成
第15回	応用的文書の作成	課題作成

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	ファッションスタイリング概論		
講義コード	D251		
開講責任部署	ファッションクリエイターコース		
講義開講時期	後期	講義区分	講義
基準単位数	2.00	時間	30.00
代表時限	４時限	代表曜日	火曜日
学年・クラス	17D	自習時間	60
選択必修区分	選択		
代表担当教員	丸山　眞澄		

意義と目的

ファッションの基本的な要素である色・質感・形の基礎知識と分類法を学び、３要素が関連したスタイリングの提案力を習得する。

到達目標

ファッションアイテムと人を関連付ける色・質感・形についての客観的な分析法を身につける。ファッションスタイリング検定３級を受験できる能力を習得することができる。

方法

テキスト・カラー教材を使い理論をビジュアルで理解させ、様々な実習によりカラーとスタイリングの関係性の理解を深める。同時にStyling Map検定取得のための受験対策をする。

評価方法

課題　　60%
小テスト　　30%
授業態度　10%

留意事項

・理解できない箇所は書き出して質問してください。

教科書

書名1　Ｓｔｙｌｉｎｇ　Ｍａｐ　検定テキスト 著書名　　一般社団法人日本ファッションスタイリスト協会　出版社　祥伝社
書名2　　著書名　　出版社

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	色彩嗜好調査（１０色） スタイリングマップ概論	0
第2回	カラーシステム① ＰＣＣＳシステムとは	関連：スタイリングマップ小テスト
第3回	カラーシステム② 色相・トーン弁別（マンセルカード）	0
第4回	パーソナルカラーシステム① 似合う色の仕組み ＰＣＣＳカラーカード分類・弁別	事後：ＰＣＣＳ１９９ａカラーカードを４テイスト１２分類する
第5回	パーソナルカラーシステム② ＰＣＣＳカラーカード分類・弁別 各テイストを分類	**関連：色とテイストの分析小テスト**
第6回	ドレープ弁別 パーソナルカラー診断　ドレープ編	0
第7回	パーソナルカラー診断　ウィッグ編	関連：ウィッグ小テスト
第8回	人の色と分析軸と分析・分類 人の質感の分析・分類 各テイストの人を集めて傾向をチェックする	関連：人の色・質感小テスト
第9回	パーソナルカラーシステム③ パーソナルカラーのスタイリングイメージ分類 （各テイストのイメージ）	事前：４つのテイストのファッションスタイル の切り抜きを持ってくる 関連：スタイリングマップ小テスト
第10回	アイテムの質感の分析・分類 ファッションアイテムを色と質感で分類	**関連：アイテムの質感小テスト**
第11回	アイテムと人の形の分析・分類 ファッションアイテムを色と形で分類 襟・柄・シルエットの分類	**関連：アイテムの形小テスト**
第12回	スタイリングボード作成①（イエローベース）	事前：イエローベースの切り抜きを集めてくる 事後：イエローベースのボードを完成する
第13回	スタイリングボード作成②（ブルーベース）	事前：ブルーベースの切り抜きを集めてくる 事後：ブルーベースのボードを完成する
第14回	スタイリングボード（４タイプ）プレゼンテーション	**関連：検定小テスト**
第15回	**スタイリング検定　まとめ**	**関連：模擬テスト**

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	テクニカル・ソーイングⅠ		
講義コード	D252		
開講責任部署	ファッションクリエイターコース		
講義開講時期	後期	講義区分	実習
基準単位数	2.00	時間	60.00
代表時限	３時限	代表曜日	金曜日
学年・クラス	17D	自習時間	30
選択必修区分	選択		
代表担当教員	吉田　美保		

意義と目的

製作を通し衣服構造の理解を深め、デザインに適した素材選択の知識を養い、縫製技術の向上を目指す。

到達目標

①工業用パターンを作製する。　②工業用の縫製方法でワンピースを製作する。　③裏地の役割を理解し、縫製できる。　④袖付けができる。

方法

サンプルの使用と、デモンストレーションによるポイント説明

評価方法

製作作品（３０%）、提出物（３０%）、授業態度（４０%）

留意事項

実習が中心の授業のため、欠席は厳禁です。やむを得ず欠席した場合は、次回の授業までに欠席した授業の内容を製作しておくこと。

教科書

書名1　著書名　　出版社　　書名2　　著書名　　出版社

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	ワンピースのデザインの考案	事前：ワンピースのデザイン、素材について考える
第2回	パターン作製（展開）	事後：原型のダーツ操作を復習する
第3回	パターン作製（身頃①）	事後：原型のダーツ操作を復習する
第4回	パターン作製（身頃②）	事後：原型のダーツ操作を復習する
第5回	パターン作製（袖）	事後：1枚袖のパターンを理解する
第6回	パターン作製（シーチング）	事前：平面パターンを完成し、授業にのぞむ
第7回	パターン作製（立体）	授業の復習とまとめ
第8回	パターン作製（フィッティング）	関連：試着チェックを受ける
第9回	工業用パターン（表地①）	事後：工業用パターンを理解する
第10回	工業用パターン（表地②）	事後：工業用パターンを理解する
第11回	工業用パターン（裏地①）	事後：裏地のパターンを理解する
第12回	工業用パターン（裏地②）	事後：裏地のパターンを理解する
第13回	工業用パターン（パターンチェック）	事後：工業用パターンを完成させる
第14回	部分縫い（ファスナー付け①）	事前：ファスナーの種類を調べる
第15回	部分縫い（ファスナー付け②）	事後：色々なファスナー付けを復習する
第16回	裁断（表地）	事前：布地の準備をしておく
第17回	裁断（裏地）	事前：布地の準備をしておく
第18回	裁断（芯接着）	事後：すべての裁断を終了させておく
第19回	縫製（表地①）	事後：ノートまとめ
第20回	縫製（表地②）	事後：ノートまとめ
第21回	縫製（裏地①）	関連：裏地のつけ方を理解する
第22回	縫製（裏地②）	関連：裏地のつけ方を理解する
第23回	縫製（ファスナー付け①）	事前：ファスナーの付け方を復習する
第24回	縫製（ファスナー付け②）	事前：ファスナーの付け方を復習する
第25回	縫製（肩～脇縫い）	事後：ノートまとめ
第26回	縫製（衿～見返し）	事後：ノートまとめ
第27回	縫製（袖作り）	関連：袖の作り方を理解する
第28回	縫製（袖付け）	関連：袖付けを理解する
第29回	縫製（中とじ）	事後：ノートまとめ
第30回	縫製（まとめ）	事後：ノートまとめ

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	マテリアル概論		
講義コード	D253		
開講責任部署	ファッションクリエイターコース		
講義開講時期	後期	講義区分	講義
基準単位数	2.00	時間	30.00
代表時限	３時限	代表曜日	木曜日
学年・クラス	17D	自習時間	60
選択必修区分	コース必修		
代表担当教員	小野　幸一		

意義と目的

前期の被服材料学で学んだ基礎知識を基に、最近の加工技術、洗浄、テキスタイルデザインや産地に関して、実際のファッションビジネスで使用される素材について深く学ぶ。

到達目標

素材には加工技術や産地などがあり、また一般商品素材に比べて、付加価値があるとい点を理解することができる。

方法

授業はプロジェクターを使用して現在のファッションに関連づけて行う。また、出来るだけ事例を取り上げる。

評価方法

期末試験　70%
ビデオレポート　20%
授業態度　10%

留意事項

素材の業界での動きは非常に速いもので、身近なアパレル素材に興味深く観察して下さい。

教科書

生活材料学　（前期被服材料学）で使用
安藤文子他
㈱アイ・ケイコーポレーション

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	一般的加工	通信販売での加工について調べる
第2回	新しい紡糸技術と紡績技術	秋冬で使用されているポリエステルをみてみる
第3回	新しい紡糸技術と紡績技術 エクセーヌビデオ	ビデオレポート
第4回	新しい外観・形態安定性能改善加工	秋冬アパレルで使用されている特殊プリントについて調べる
第5回	新しい外観・形態安定性能改善加工 形態安定加工ビデオ	ビデオレポート
第6回	新しい保健衛生的性能改善加工	スポーツウエアーの素材を調べる
第7回	新しい機能性を付与する加工	お父さんのワイシャツが形態安定加工かを見てみる
第8回	繊維製品の洗浄と管理	洗剤の品質表示を確認
第9回	繊維製品の洗浄と管理	シャンプー・リンスの品質表示を確認
第10回	繊維製品の洗浄と管理	台所洗剤の品質表示を確認
第11回	アパレルとファブリック	リバティープリントを観察
第12回	テキスタイルデザイン	リバティープリントを観察
第13回	テキスタイルデザインと産地 テキスタイルデザインとコンピュータ	地元尾州産地について調べる
第14回	ファブリケーション	ファッション販売から来年は春夏の素材トレンドを確認
第15回	ファブリケーション	ファッション販売から来年は春夏の素材トレンドを確認

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	マーケティング論		
講義コード	D254		
開講責任部署	ファッションクリエイターコース		
講義開講時期	後期	講義区分	講義
基準単位数	2.00	時間	30.00
代表時限	２時限	代表曜日	金曜日
学年・クラス	17D	自習時間	60
選択必修区分	選択		
代表担当教員	小野　幸一		

意義と目的

マーケティングは企業にとって最も重要である。特に小売業は地域の消費者に支持されないと存続できない。
身近な店舗を考え、お客様に支持されるとはどういうことかを学ぶ。

到達目標

販売士協会販売士３級合格が出来る知識の習得をすることができる。

方法

教科書、パワーポイントを使い視覚的に理解させる。ポイントは教科書にマークさせる。講義内容ＰＤＦは事前にipadにＵＰしてある。

評価方法

試験３回　100%

留意事項

テキストは必ず購入して下さい。小売の専門用語が多いので、不明な点はかならず質問すること。

教科書

販売士養成講習会３級テキスト
日本商工会議所・全国商工会連合会編

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	流通における小売業に基本的役割 流通経路別小売業の基本的役割	授業内容の復習および不明な点を列挙
第2回	形態別小売業の基本的役割 店舗形態別小売業の基本的役割	授業内容の復習および不明な点を列挙
第3回	チェーンストアーの基本的役割 商業集積の基本的役割と仕組み	授業内容の復習および不明な点を列挙
第4回	商品の基本知識 マーチャンダイジングの基本	授業内容の復習および不明な点を列挙
第5回	商品計画の基本 仕入計画の基本的役割 在庫管理の基本的役割	授業内容の復習および不明な点を列挙
第6回	販売管理の基本衣的役割 価格設定の基本的考え方 利益追求の基本知識	授業内容の復習および不明な点を列挙
第7回	ストアーオペレーションの基本的役割	授業内容の復習および不明な点を列挙
第8回	ディスプレイの基本的役割	授業内容の復習および不明な点を列挙
第9回	作業割り当ての基本的役割 人的販売の基本的考え方	授業内容の復習および不明な点を列挙
第10回	売業のマーケティングの基本的考え方 顧客管理の基本的役割	授業内容の復習および不明な点を列挙
第11回	販売促進の基本的役割 商圏設定と出店の基本的考え方	授業内容の復習および不明な点を列挙
第12回	売場づくりの基本的考え方	授業内容の復習および不明な点を列挙
第13回	販売員の基本業務 販売員の法令知識	授業内容の復習および不明な点を列挙
第14回	販売事務と計数管理の基本的知識 売り場の人間関係	授業内容の復習および不明な点を列挙
第15回	店舗管理の基本的役割 予備試験	授業内容の復習および不明な点を列挙

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	トレンドディレクションⅡ		
講義コード	D255		
開講責任部署	ファッションクリエイターコース		
講義開講時期	後期	講義区分	講義
基準単位数	2.00	時間	30.00
代表時限	２時限	代表曜日	月曜日
学年・クラス	17D	自習時間	60
選択必修区分	選択		
代表担当教員	安藤　美奈子		

意義と目的

ファッショントレンドの分析と予測を行った後に、予測したトレンドの検証を行う。また、分析結果から提案へと発展させる。

到達目標

①トレンドの分析や予測に対しては必ず検証を行う。②分析した後は次のトレンドを予測したり、次へ向けたファッションの提案ができる。

方法

実習を主体に進める。市場調査をしてレポートにまとめたり、ファッション雑誌の内容の分析を行いマップ作成することにより、前期で行ったトレンドの分析の検証を行う。

評価方法

製作作品とプレゼンテーション（50%）、レポート課題（30%）、授業態度（20%）

留意事項

実習を契機に、ファッションに関する客観的な「分析力」を身につけること、感じたことをヴィジュアルやことばを使って分かりやすく伝える「表現力」を養うこと。

教科書

書名1　著書名　　出版社　　書名2　　著書名　　出版社

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	前期に分析したトレンドの検証、 秋物の市場調査の報告書作成・提出	**事前：秋物の市場調査**
第2回	前期に分析したトレンドの検証、 雑誌掲載内容から今秋トレンドをまとめる（実習）	事前・事後：雑誌に目を通し、分析作業を進める
第3回	**同上**	事前・事後：雑誌に目を通し、分析作業を進める
第4回	**同上**	事前：雑誌に目を通し、分析作業を進める 事後：発表の準備
第5回	**市場調査と雑誌で検証した今秋トレンドの発表**	事前：発表の準備 事後：雑誌に目を通し、分析作業を進める
第6回	前期に分析したトレンドの検証、 雑誌掲載内容から今冬トレンドをまとめる（実習）	事前・事後：雑誌に目を通し、分析作業を進める
第7回	**同上**	事前・事後：雑誌に目を通し、分析作業を進める
第8回	**同上** **冬物の市場調査報告書の提出**	**事前：冬物の市場調査** **事後：発表の準備**
第9回	**市場調査と雑誌で検証した今冬トレンドの発表**	事後：デザイナーズコレクションに目を通し、分析作業を進める
第10回	来春夏のトレンド分析と提案（実習）	事前・事後：デザイナーズコレクションに目を通し、分析作業を進める
第11回	来春夏のトレンド分析と提案（実習）	事前・事後：デザイナーズコレクションに目を通し、分析作業を進める
第12回	来春夏のトレンド分析と提案（実習）	事前・事後：デザイナーズコレクションに目を通し、分析作業を進める
第13回	来春夏のトレンド分析と提案（実習）	**事前：分析を作業を進める** **事後：発表の準備**
第14回	来春夏のトレンド分析と提案の発表（各自）	**事前：発表の準備**
第15回	来春夏のトレンド分析と提案の発表（各自）	**事前：発表の準備**

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	アパレルCAD演習Ⅰ		
講義コード	D256		
開講責任部署	ファッションクリエイターコース		
講義開講時期	後期	講義区分	演習
基準単位数	1.00	時間	30.00
代表時限	２時限	代表曜日	火曜日
学年・クラス	17D	自習時間	15
選択必修区分	コース必修		
代表担当教員	井本　理香		

意義と目的

パターンナーの仕事を理解すると共に、CADの基礎知識を習得しインターンシップへと導入する。

到達目標

CADでのパターンメイキング　主にスカートを中心にマスターパターンから完成パターンまでを完璧に仕上げられるようにする。

方法

アパレルCADとハンドパターンと両方を使ってパターンメーキングが理解できるように指導する。

評価方法

期末試験　40%　課題提出　20%　出席率　20%　授業態度　20%

留意事項

パターンメイキングについての知識と理解

教科書

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	オペレーションの基礎知識　Ⅰ	事前：資料収集とまとめ
第2回	オペレーションの基礎知識　Ⅱ	事前：資料収集とまとめ
第3回	オペレーションの基礎知識　Ⅲ	事前：資料収集とまとめ
第4回	オペレーションの基礎知識　Ⅳ　フレアースカート作成	事前：資料収集とまとめ
第5回	サーキュラースカート作成　タイトスカート後ベンツハンド　Ⅰ	事後：復習とノートまとめ
第6回	タイトスカート後ベンツハンド　Ⅱ タイトスカート後ベンツCAD　表型 ウエストベルト作成	事後：復習とノートまとめ
第7回	タイトスカート後ベンツ表型CAD　Ⅱ ダーツ山作成 倒し方向図解	事後：復習とノートまとめ
第8回	タイトスカート後ベンツ裏型　Ⅰ	事後：復習とノートまとめ
第9回	タイトスカート後ベンツ裏型　Ⅱ	事後：復習とノートまとめ
第10回	神ロカフス作成CAD	事後：復習とノートまとめ
第11回	ダーツの展開　ハンド	事後：復習とノートまとめ
第12回	ダーツの展開　CAD	事後：復習とノートまとめ
第13回	縫い代付け、パーツ名称	事後：復習とノートまとめ
第14回	課題パターン制作	事後：復習とテスト対策
第15回	総復習	事後：資料整理とまとめ

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	パターンメイキングⅠ		
講義コード	D257		
開講責任部署	ファッションクリエイターコース		
講義開講時期	後期	講義区分	実習
基準単位数	1.00	時間	30.00
代表時限	５時限	代表曜日	金曜日
学年・クラス	17D	自習時間	15
選択必修区分	選択		
代表担当教員	吉田　美保		

意義と目的

パターンメイキングの基礎を学び、自分が思い描いたデザインを形にできるように技術を身につける。

到達目標

①原型からのパターン展開の方法がわかる。　②デザインに応じたパターンがひけるようになる。

方法

さまざまなデザインのパターン展開の仕方を、１／４原型を使って進めていく。

評価方法

提出物（３０％）、小テスト（３０％）、授業態度（４０％）

留意事項

実習が中心の授業のため、欠席は厳禁です。やむを得ず欠席した場合は、次回の授業までに欠席した授業の内容を製作しておくこと。

教科書

書名1　著書名　　出版社　　書名2　　著書名　　出版社

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	スカートの基礎	事後：スカートのパターン構成を理解する
第2回	スカートの展開①	事後：スカートのパターン構成を理解する
第3回	スカートの展開②	事後：スカートのパターン展開を復習する
第4回	身頃の基礎	事後：身頃のパターン構成を理解する
第5回	身頃の展開①	事後：見頃のパターン構成を理解する
第6回	身頃の展開②	事後：身頃のパターン展開を復習する
第7回	袖の基礎	事前：袖について調べる
第8回	袖の展開①	事前：袖について調べる
第9回	袖の展開②	事後：袖のパターン展開を復習する
第10回	衿の基礎	事前：衿について調べる
第11回	衿の展開①	事前：衿について調べる
第12回	衿の展開②	事後：衿のパターン展開を復習する
第13回	応用編①	事後：ノートまとめ
第14回	応用編②	事後：ノートまとめ
第15回	応用編③	事後：ノートまとめ

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	立体裁断Ｉ		
講義コード	D258		
開講責任部署	ファッションクリエイターコース		
講義開講時期	後期	講義区分	演習
基準単位数	2.00	時間	60.00
代表時限	１時限	代表曜日	木曜日
学年・クラス	17D	自習時間	30
選択必修区分	コース必修		
代表担当教員	山下　多津子		

意義と目的

立体裁断をする事によって、バランス、シルエット等の作り方技術をマスター出来る様にする事。

到達目標

しっかりと地の目を見る事が出来、ピンをきちんと打つことが出来る様いなる。必要な部分にはゆとりを入れてシルエットを作る。

方法

しっかり授業に参加して、オリジナルの立体を見て、自分でとりあえず真似てみる。

評価方法

授業態度（３０％）　創造性（２０％）　理解度（２０％）　作品の完成度（３０％）

留意事項

店頭での商品、雑誌、自分の着用分をたくさん見て、考え、
ファッションの流れ、自分の好みの洋服等いつも興味を持つ事。

教科書

書名1　著書名　　出版社　　書名2　　著書名　　出版社

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	初回は、立体裁断とは何かについて講義する。	**事前：立体裁断について調べる**
第2回	布、鋏、ピンそしてボディについて講義する。	事後：次回までに布（シーチング）にアイロンをかけて持参すること。
第3回	見頃の原型について講義をする。	**事前：見頃原型について調べる**
第4回	見頃の原型の実技指導する。	事後：授業内でできなかった点を次回までにしておくこと
第5回	見頃のグレーディングの講義をする。	事前：グレーディングについて調べる
第6回	見頃のグレーディングの指導をする。	事後：授業内でできなかった点を次回までにしておくこと
第7回	グレーディング後再度組み立てさせる。	**事後：まとめ**
第8回	スカートのゆるみについて講義する。	事前：スカートのゆるみについて調べる
第9回	スカートの実技指導をする。	事後：授業内でできなかった点を次回までにしておくこと
第10回	見頃とスカートをつなぎワンピースにする。	事後：授業内でできなかった点を次回までにしておくこと
第11回	衿の講義をする。	**事前：衿について調べる**
第12回	衿の実技指導をする。	**事後：衿の製図を完全に習得すること**
第13回	袖の製図の講義をする。	**事前：袖について調べる**
第14回	袖の実技指導をする。	**事後：袖の製図を完全に習得すること**
第15回	課題を完成させる。	**事後：まとめ**
第16回	個々に課題を確認する。	**事後：まとめ**
第17回	トレースの注意点等を講義する。	事後・授業内でできなかった点を次回までにしておくこと
第18回	課題をトレースして、再度組み立てる。	事後：授業内でできなかった点を次回までにしておくこと
第19回	課題を評価する。	事後：次回のブラウスのデザイン画作成しておく。
第20回	デザイン画のブラウスのプレゼンをする。	**事後：デザイン画作成**
第21回	ブラウスの見頃の講義と実技指導。	事後：授業内でできなかった点を次回までにしておくこと。
第22回	衿の講義をする。	**事前：衿について調べる**
第23回	衿の実技指導をする。	**事後：衿製図のまとめ**
第24回	袖の製図の講義をする。	**事前：袖について調べる**
第25回	袖の製図の講義をする。	**事後：袖についてのまとめ**
第26回	袖の実技指導をする。	事後：授業内でできなかった点を次回までにしておくこと。
第27回	袖の実技指導をする。	事後：授業内でできなかった点を次回までにしておくこと
第28回	課題完成させる。	**事後：課題完成する**
第29回	個々に課題について指導をする。	**事後：課題完成する**
第30回	課題評価をする。	**事後：課題完成する**

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	海外研究		
講義コード	D259		
開講責任部署	ファッションクリエイターコース		
講義開講時期	後期	講義区分	講義
基準単位数	2.00	時間	30.00
代表時限	３時限	代表曜日	火曜日
学年・クラス	17D	自習時間	60
選択必修区分	選択		
代表担当教員	吉村　いづみ		

意義と目的

現代はグローバル社会。経済も政治も様々な国々との関わりのなかで動いている。国境を越えて人々が共生し平和な社会を築くためにはどうしたらよいのか。様々な視点から考察する。

到達目標

地理、言語、宗教、民族紛争など、基礎的な世界の常識を理解している。それらをふまえて国際情勢について、自分の意見をまとめることができる。

方法

授業開始時には、毎回「世界常識クイズ」を行い、常識度をチェックする。授業はパワーポイントやビデオなど視覚的教材を使い、わかりやすく説明する。

評価方法

小テスト20%。ノート20%。定期試験60%。

留意事項

世界の時事問題に興味を持ち、自分から調べる態度を身につけてください。

教科書

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	イントロダクション	世界の国数、人口、言語などを確認しておこう。
第2回	アメリカ：人工国家、移民大国の始まり	アメリカはなぜ人工国家なのか、まとめておこう
第3回	アメリカ：新大陸発見とポカホンタスの物語	アメリカの先住民について、まとめておこう
第4回	アメリカ：WASP社会	第一次移民とはどのような人々化、まとめておこう
第5回	アメリカ：宗教国家である理由	プロテスタントの意味は？アメリカの宗教についてまとめておこう
第6回	アメリカ：黒人社会とキング牧師の公民権運動	アメリカの人種差別の歴史とキング牧師について、まとめておこう
第7回	ユダヤ系アメリカ人について	ユダヤ系アメリカ人はなぜ影響力があるのか、まとめよう
第8回	中東の地理について	中東とはどのような地域か。地図を調べておこう。
第9回	増え続けるイスラム教について	イスラム教の特徴、キリスト教、ユダヤ教との関係をまとめよう
第10回	中東の火種、イスラエルとパレスチナ	パレスチナ問題の原因を作った国はどこか、まとめよう
第11回	パレスチナ問題の現在	中東戦争とその後について、まとめておこう。
第12回	ヨーロッパ：地理的特徴と生活文化	ヨーロッパの地図を埋めながら、様々な国の位置を記憶しよう。
第13回	ヨーロッパ：西欧社会とEUの現実	EUの成立背景、現在のEUが抱えている問題をまとめておこう。
第14回	ヨーロッパ：東欧とEU圏の拡大	東欧と西欧の違い。東欧の現在の動きを調べておこう
第15回	アジアの中の日本	日本が行える国際貢献とはなんだろう。まとめておこう。

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	英語コミュニケーションⅡ		
講義コード	D260		
開講責任部署	ファッションクリエイターコース		
講義開講時期	後期	講義区分	演習
基準単位数	1.00	時間	30.00
代表時限	４時限	代表曜日	月曜日
学年・クラス	17D	自習時間	15
選択必修区分	選択		
代表担当教員	ステファン　レポールド		

意義と目的

The aim is to provide a foundation of English Language skills in Reading, Writing, Listening and Speaking, in order to best prepare students for the Test of English as a Foreign Language (TOEFL)

到達目標

The goal of this class is for students to continue their development in building basic listening, speaking, reading and writing skills.

方法

Students will be required to work diligently in order to create a positive and energetic classroom

評価方法

Quizzes 60%　Final test 30%　Homework 10%

留意事項

Students must come on time, be prepared (textbooks, notebook, pen), and make an effort.

教科書

World Link Intro: Developing English Fluency 1st Edition
Author: Susan Stempleski, Nancy Douglas, James R. Morgan
Publisher: Cengage
ISBN-13: 978-0838406618
ISBN-10: 0838406610

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	My Summer Holiday	
第2回	Short Presentation (summer holiday)	
第3回	Video 1: shopping transactions at a store	
第4回	My experience (resume'/CV writing)	
第5回	Pick a country	
第6回	Quiz#1: Foreign country short presentation	
第7回	My hero	
第8回	Describing people	
第9回	Video 2: comprehension practice	
第10回	Dates to remember (Time expressions)	
第11回	Quiz #2: Listening comprehension and vocabulary	
第12回	Season's Greetings: Holidays around the world	
第13回	Final Exam preparation	
第14回	Quiz #3: Short Interview	
第15回	Final Exam: Listening and vocabulary comprehension	

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	英語コミュニケーションⅡ		
講義コード	D261		
開講責任部署	ファッションクリエイターコース		
講義開講時期	後期	講義区分	演習
基準単位数	1.00	時間	30.00
代表時限	４時限	代表曜日	月曜日
学年・クラス	17D	自習時間	15
選択必修区分	選択		
代表担当教員	ゴールズ　スティーヴン		

意義と目的

The aim of this class is to continue developing the students level of English conuersation from elementary to intermediate.

到達目標

The goal of this class is to have the student reach a deaper understanding of English in daiy comuersation by using a wide range of topics and speaking assignments.

方法

During the course we will be utilizing an intermediate textbook,group and individual presentations,listening and speaking tasks to impreoe the level of English.

評価方法

Presentations-50% Reports-30% Classwaork-10% Quizzes-10%

留意事項

This course is designed to lncrease the students wuoy English in anatural.confident manner,but also academically also.

教科書

書名1 Interchange students book2 著書名　Jack C. Richards 出版社　Cambridge 書名2　Interchange Class audio CDs 2 (TWO)　著書名　Jack C. Richards　出版社　Cambridge

参考文献

newspapers articles/TOEIC TESTSHEETS SUPPLIED By TEACNEOZ magazine articles

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	Talking about personal past experiences and childmood events.	Review-written assicinment about childhood.
第2回	Leanwing how to discuss public transportation,how to use,transportaion in the city!	Review- write about a type of public transport in NAGOYA city.
第3回	Taking about living accommodation learning about comparisons and life chances.	Preparation:Prepare a presentation on ideal living accommodation.
第4回	Learning how to give introctions in English.	Review:Write instructions on how to make your favorite Japanese meal.
第5回	Learning how to describe future plans.	Preparation: Talk about your summer vacation plans and give details.
第6回	Learning how to give detailed suggestions and invitations.	Review:Write a detailed suggestion of a touristdestination.
第7回	Making complaints,requests and giving excuees.	Preparation:Group work activity.Make a short scene about excuses.
第8回	Discussing customs and special events in foreign countries.	Preparation:Write adetailed suggestion of a touristd estination.
第9回	Learning hou to discuss change. Time contarests.	Review:Compare and contrast two time periods.
第10回	Describing personality traits and personal skills.	Review:Write about your dream job.
第11回	Learning how to discuss facts.	Preparation:Group presentation present a famous artwork and discuss.
第12回	Learning how to communicate unexpected recent events.	Review:Write about your dream job.
第13回	Learning how to ask for opinions,how to give reactions.	preparation:drepare a presenattion giving your opinion on current news.
第14回	Learning and discussing non-verbal communication.	review:Write about observeo body language.
第15回	Learning how to speculate about fast and future events.	preparation:prepare for pop quiz.

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	英語コミュニケーションⅡ		
講義コード	D262		
開講責任部署	ファッションクリエイターコース		
講義開講時期	後期	講義区分	演習
基準単位数	1.00	時間	30.00
代表時限	５時限	代表曜日	月曜日
学年・クラス	17D	自習時間	15
選択必修区分	選択		
代表担当教員	ゴールズ　スティーヴン		

意義と目的

This course will aim to continue to increase the students level of English to intermediate conversation and underdtanding.

到達目標

By the end of the course students will be able to understand and hold intermediate conversations on a wide range of different topics and situations.

方法

This courses main focus will be to achieue an intermediate level of fluency in English by utilizing a range of tools, l e textbooks,Listeng,reading and speaking tasks.

評価方法

Presentaions-50% Reports-30% Classwork-10% Quizzes-10%

留意事項

This course is a comprehensive English class which will aid all students in achieving an academic and Practical level of intermediate English communication.

教科書

書名1 Interchange students book 2 著書名　Jack C Richards 出版社　Cambridge 書名2　Interchange class audio CD 1 two 著書名　Jack C Richards　出版社　Cambridge

参考文献

newspaper articces English worksueets (supplied by teacher)

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	Discossing life in the past compared to life today.	preparation:present examples of past and present contrasts.
第2回	learning and disccssing abilities and skills.	Review:write about attributes and skills you admire.
第3回	Leaning how to discuss facts.	Preparetion:Prepare a presentation giving facts about a country.
第4回	Learning how to tell a constructive and clear story.	Review:write a story using everyday examples of English grammar.
第5回	Learning how to discuss and evoke reactions in English.	Review:Interview fellow students about events in the news.
第6回	Learning how to explain prohibited vs acceptable actions in different situantions.	Review:Write about promibited and acceptable actions in japan.
第7回	Discussing predicaments and problems in English.	Preparation:Make a presentation basedon a problem you have encountered.
第8回	Learning how to report what someone has said.	Review:Write a report of something a politicion recently said.
第9回	Leaning how to discuss recollections and memories.	prepanation:Make a presentation about your happiest memory.
第10回	Lwaning how to evaluate positives and negatives.	Review:Write a review of your own positive and negative attributers.
第11回	Learning how to give travel advice.	review:Compare and contrast the U.K/U.S.A with Japan.
第12回	Learning how to give instructions and directions.	Presentation:Prepare a presentation Giving detailed directions in Paris.
第13回	Learning how to give travel advice.	Review:Write a letter to someone giving them travel advice.
第14回	Learning how to ask for favors or how to make requests.	preparation:In groups make a short act asking for favors.
第15回	Description of everyday items in intermediate English.	Review:Write a detailed description of something you want to buy.

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	情報処理演習Ⅱ		
講義コード	D263		
開講責任部署	ファッションクリエイターコース		
講義開講時期	後期	講義区分	演習
基準単位数	1.00	時間	30.00
代表時限	３時限	代表曜日	月曜日
学年・クラス	17D	自習時間	15
選択必修区分	選択		
代表担当教員	山田　祥子		

意義と目的

表計算ソフトを用いて実社会で必要となるデータの整理、計算、グラフ化などの情報処理技術を習得する。

到達目標

日本情報処理検定協会の情報処理検定試験（表計算）2級合格程度の技能を習得し、表計算ソフトを活用できる。

方法

検定試験問題やその他応用問題を使って、表計算ソフトの実技練習をする。

評価方法

確認テスト（実技試験）40%
授業態度30%
提出物20%
小テスト10%

留意事項

1回でも休むと追いつくのが大変です。欠席しないこと。

教科書

情報処理技能検定試験（表計算）検定対策問題集（日本情報処理検定協会）

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	表計算ソフトの概要、４級検定試験問題解説	４級問題練習
第2回	３級試験問題の解説、端数処理、表示形式、並び替え	３級問題練習
第3回	３級試験問題の解説、端数処理、表示形式、並び替え	３級問題練習
第4回	判断文、多重判断文、絶対参照	３級問題練習
第5回	準２級検定試験問題の解説と演習	準２級問題練習
第6回	準２級検定試験問題の解説と演習	準２級問題練習
第7回	準２級検定試験問題の解説と演習	準２級問題練習
第8回	２級検定試験問題の解説と演習	２級問題練習
第9回	２級検定試験問題の解説と演習	２級問題練習
第10回	２級検定試験問題の解説と演習	２級問題練習
第11回	２級検定試験問題の解説と演習	２級問題練習
第12回	確認テスト（検定試験を兼ねる）	確認テスト自己採点
第13回	複数シートの操作・データベース機能の解説と演習	データベース機能の練習
第14回	データベース機能の解説と演習	データベース機能の練習
第15回	データベース機能の応用	データベース機能の練習

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	技能検定Ｉ		
講義コード	D301		
開講責任部署	ファッションクリエイターコース		
講義開講時期	前期	講義区分	
基準単位数	1.00	時間	0.00
代表時限		代表曜日	
学年・クラス	17D	自習時間	
選択必修区分	選択		
代表担当教員	コース主任		

意義と目的

到達目標

方法

評価方法

留意事項

教科書

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	技能検定Ⅱ		
講義コード	D302		
開講責任部署	ファッションクリエイターコース		
講義開講時期	前期	講義区分	
基準単位数	1.00	時間	0.00
代表時限		代表曜日	
学年・クラス	17D	自習時間	
選択必修区分	選択		
代表担当教員	コース主任		

意義と目的

到達目標

方法

評価方法

留意事項

教科書

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	技能検定Ⅲ		
講義コード	D303		
開講責任部署	ファッションクリエイターコース		
講義開講時期	前期	講義区分	
基準単位数	1.00	時間	0.00
代表時限		代表曜日	
学年・クラス	17D	自習時間	
選択必修区分	選択		
代表担当教員	コース主任		

意義と目的

到達目標

方法

評価方法

留意事項

教科書

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	文化とコミュニケーションⅠ		
講義コード	D304		
開講責任部署	ファッションクリエイターコース		
講義開講時期	前期	講義区分	
基準単位数	2.00	時間	0.00
代表時限		代表曜日	
学年・クラス	17D	自習時間	
選択必修区分	選択		
代表担当教員	指導教員		

意義と目的

到達目標

方法

評価方法

留意事項

教科書

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	文化とコミュニケーションⅡ		
講義コード	D305		
開講責任部署	ファッションクリエイターコース		
講義開講時期	前期	講義区分	
基準単位数	2.00	時間	0.00
代表時限		代表曜日	
学年・クラス	17D	自習時間	
選択必修区分	選択		
代表担当教員	指導教員		

意義と目的

到達目標

方法

評価方法

留意事項

教科書

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	技能検定Ｉ		
講義コード	D351		
開講責任部署	ファッションクリエイターコース		
講義開講時期	後期	講義区分	
基準単位数	1.00	時間	0.00
代表時限		代表曜日	
学年・クラス	17D	自習時間	
選択必修区分	選択		
代表担当教員	コース主任		

意義と目的

到達目標

方法

評価方法

留意事項

教科書

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	技能検定Ⅱ		
講義コード	D352		
開講責任部署	ファッションクリエイターコース		
講義開講時期	後期	講義区分	
基準単位数	1.00	時間	0.00
代表時限		代表曜日	
学年・クラス	17D	自習時間	
選択必修区分	選択		
代表担当教員	コース主任		

意義と目的

到達目標

方法

評価方法

留意事項

教科書

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	技能検定Ⅲ		
講義コード	D353		
開講責任部署	ファッションクリエイターコース		
講義開講時期	後期	講義区分	
基準単位数	1.00	時間	0.00
代表時限		代表曜日	
学年・クラス	17D	自習時間	
選択必修区分	選択		
代表担当教員	コース主任		

意義と目的

到達目標

方法

評価方法

留意事項

教科書

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	インターンシップⅠ		
講義コード	D354		
開講責任部署	ファッションクリエイターコース		
講義開講時期	後期	講義区分	実習
基準単位数	2.00	時間	90.00
代表時限		代表曜日	
学年・クラス	17D	自習時間	0
選択必修区分	選択		
代表担当教員	渡邉　加奈		

意義と目的

専門科目及び一般教養科目をいかして、希望する専門職での企業研修を行い、仕事についての理解を深める。

到達目標

専門職の仕事内容がわかる。
実習をとおして将来の方向性を明確にできる。

方法

専門職での企業実習を、実質10日間行う。

評価方法

認定

留意事項

教科書

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	生活文化海外セミナーⅠ		
講義コード	D355		
開講責任部署	ファッションクリエイターコース		
講義開講時期	後期	講義区分	演習
基準単位数	2.00	時間	0.00
代表時限		代表曜日	
学年・クラス	17D	自習時間	
選択必修区分	選択		
代表担当教員	指導教員		

意義と目的

到達目標

方法

評価方法

留意事項

教科書

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	生活文化海外セミナーⅡ		
講義コード	D356		
開講責任部署	ファッションクリエイターコース		
講義開講時期	後期	講義区分	演習
基準単位数	2.00	時間	0.00
代表時限		代表曜日	
学年・クラス	17D	自習時間	
選択必修区分	選択		
代表担当教員	指導教員		

意義と目的

到達目標

方法

評価方法

留意事項

教科書

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	特殊研究Ｉ		
講義コード	D357		
開講責任部署	ファッションクリエイターコース		
講義開講時期	後期	講義区分	演習
基準単位数	1.00	時間	30.00
代表時限		代表曜日	
学年・クラス	17D	自習時間	15
選択必修区分	選択		
代表担当教員	渡邉　加奈		

意義と目的

外部のファッションショーやコンテストに応募し、デザインの発想や創造力を試す。

到達目標

入選したデザイン画や企画に基づいて、作品制作ができる。
計画を立て実施することができる。

方法

行事や実物作品の審査日に合わせて、集中的に製作を行う。

評価方法

認定

留意事項

スケジュール管理に注意し、計画的に進めましょう。

教科書

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	特殊研究Ⅱ		
講義コード	D358		
開講責任部署	ファッションクリエイターコース		
講義開講時期	後期	講義区分	演習
基準単位数	1.00	時間	30.00
代表時限		代表曜日	
学年・クラス	17D	自習時間	15
選択必修区分	選択		
代表担当教員	渡邉　加奈		

意義と目的

外部のファッションショーやイベント、コンテストに応募し、デザインの発想や創造力を試す。

到達目標

入選したデザイン画や企画に基づいて、作品制作ができる。
計画を立てて取り組むことができる。
コンテスト、ファッションショーへの参加、イベント等の実施ができる。

方法

行事や実物作品の審査日に合わせて、集中的に製作を行う。

評価方法

認定

留意事項

スケジュール管理に注意し、計画的に進めましょう。

教科書

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	演習		
講義コード	D501		
開講責任部署	ファッションデザインコース		
講義開講時期	通年	講義区分	演習
基準単位数	2.00	時間	60.00
代表時限	３時限	代表曜日	木曜日
学年・クラス	16D	自習時間	30
選択必修区分	専攻必修		
代表担当教員	渡邉　加奈		

意義と目的

専門科目の学習を深めるため、個々が卒業研究のテーマを決めて、自主的に調査研究・制作などを行う。また、各自の適正と専門性を生かすことができるよう進路指導を行う。

到達目標

就職活動のためのポトフォリオ作成ができる。
ファッションフェスタでの展示、大学祭や卒業研究など主体的に取り組むことができる。
成果を効果的に発表することができる。

方法

ポトフォリオ作成、卒業研究、作品製作など毎回各自が目標を持って取り組み、指導を受ける。

評価方法

レポート課題６０％　行事参加２０％　授業態度２０％

留意事項

学生に求められる姿勢：この演習では1年間を通して、どれだけ人間として成長したかが問われます。社会人基礎力でも取り上げているように、「考え抜く力」、「前に踏み出す力」「チームで動く力」が学生生活を送る上でも重要です。
　学校行事への積極的な参加や、クラスのまとまり、卒業研究への取り組みなどを積極的に行う姿勢が望ましい。

教科書

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	演習の概要説明と指導方法、履修登録指導	２年次の目標
第2回	先輩と語る会	卒業生への質問
第3回	ＦＤ合同企業説明会	
第4回	就職活動について、ポトフォリオの作成	ポトフォリオ資料確認
第5回	個人面談①　個人学習計画表・進路計画	自己分析
第6回	個人面談②　個人学習計画表・進路計画	自己分析
第7回	就職活動報告と対策①	一般教養、政治・時事問題の強化
第8回	就職活動報告と対策②	専門知識の強化
第9回	卒業研究について	テーマにあわせた資料収集
第10回	卒業研究について	
第11回	卒業研究について	
第12回	ファッションフェスタの準備	
第13回	ファッションフェスタの準備	
第14回	ファッションフェスタの準備	
第15回	研修旅行の説明と課題 前期修得単位の確認など	
第16回	後期履修変更について 卒業研究の中間発表	履修変更の報告
第17回	卒業研究レポートの作成にあたって	課題提出（資料収集）
第18回	卒業研究、構成表を作る	不足資料の収集
第19回	卒業研究のまとめ①	序論の展開
第20回	卒業研究のまとめ②	序論の展開
第21回	大学祭への取り組み	
第22回	大学祭準備	
第23回	卒業研究のまとめ③	本論の展開
第24回	卒業研究のまとめ④	本論の展開
第25回	卒業研究のまとめ⑤	結論
第26回	卒業研究のまとめ⑥	提出
第27回	パワーポイントの作成	口頭発表用原稿の抜粋
第28回	発表用原稿の確認、学習成果振り返りシートの作成 テーブルマナー事前指導	パワーポイント資料確認
第29回	卒業研究口頭発表	
第30回	卒業研究口頭発表	

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	ファッションアートⅡ		
講義コード	D502		
開講責任部署	ファッションデザインコース		
講義開講時期	通年	講義区分	演習
基準単位数	2.00	時間	60.00
代表時限	３時限	代表曜日	火曜日
学年・クラス	16D	自習時間	30
選択必修区分	コース必修		
代表担当教員	渡邉　加奈		

意義と目的

１年次に学んだ知識と技術を土台として、テーマに基づいて、様々な視点からデザインを発想し、創造性豊かな作品を製作する。

到達目標

デザイン画から効果的な素材選択、素材作り、造形技法、パターン展開等を研究し、作品を製作できる。

方法

テーマ分析法やコンテスト等の作品研究と技法サンプルの検証をしながら、自己表現する。

評価方法

作品６０％、提出物２０％、授業態度２０％

留意事項

作品製作の作業は授業時間外になるため、計画的に作業を行ってください。

教科書

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	デザイン選定	コレクション、トレンド調査
第2回	技法確認・製作計画	サンプル製作
第3回	サンプル製作	サンプル製作
第4回	堀先生講座	ポートフォリオ作成資料作り
第5回	堀先生講座	ポートフォリオ作成資料作り
第6回	堀先生講座	ポートフォリオ作成資料作り
第7回	パターン製作	パターン制作
第8回	仮縫い	フィッティング調整
第9回	パターン修正	パターン修正
第10回	作品製作	製作
第11回	作品製作	製作
第12回	作品製作	製作
第13回	作品製作	製作
第14回	作品製作	製作
第15回	ＮＦコレ	まとめ、反省
第16回	卒業作品　企画・制作	資料収集
第17回	卒業作品　企画・制作	資料収集
第18回	作品製作	技法研究
第19回	作品製作	サンプル製作
第20回	作品製作	製作
第21回	作品製作	製作
第22回	作品製作	製作
第23回	作品製作	製作
第24回	作品製作	製作
第25回	作品製作	製作
第26回	作品製作	製作
第27回	作品製作	製作
第28回	発表準備	演出方法の研究
第29回	卒業作品発表	まとめ、発表準備
第30回	まとめ	まとめ

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	生活文化論		
講義コード	D601		
開講責任部署	ファッションデザインコース		
講義開講時期	前期	講義区分	講義
基準単位数	2.00	時間	30.00
代表時限	２時限	代表曜日	月曜日
学年・クラス	16D	自習時間	60
選択必修区分	専攻必修		
代表担当教員	長谷川　明子		

意義と目的

今、地球は大きな転換期にあります。13分に１種類の生物が地球上から絶滅している状況で未来は大丈夫でしょうか？より良い未来、幸せな社会を継続させる為に、私たちがすべき行動を学びます。

到達目標

１　環境問題を自分ごととして考え、行動できるようになる。
２　インターネットから、より正しい情報を入手できるようになる。
３　プレゼンテーションが出来るようになる

方法

映像やクイズ形式での講義、ワークショップなどを実施し楽しみながら、講義を行います。
プレゼンテーションスキルを高めるために、ピア　ティーチを実施します。

評価方法

期末試験：40%　レポート提出：30%　授業態度（プレゼンテーション含む）：30%

留意事項

環境問題は他人事ではなく、自分の問題です。自分の行動が未来を左右することを意識し、どうしたら楽しい行動（ハッピーアクション）になるのか一緒に考えていきましょう。

教科書

書名1 生物多様性　私と地球を元気にする方法 著書名
長谷川明子　出版社　技報堂出版 書名2　　著書名　　出版社

参考文献

環境省ホームページ、企業のホームページなど

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	2050年の地球	予習：2050年の自分を考えてくる
第2回	世界にここにしかない自然　文化の中の野生生物	復習：生活の中にある野生生物をモチーフにしたものを探す
第3回	愛知目標　生物多様性条約	復習：生物多様性条約と自分との関係を考える
第4回	１０の言葉	復習：身近な自然を観察する
第5回	認証マーク	予習：環境に配慮していると思われるマークを３つ調べてくる
第6回	昨日の夕食は？	復習：興味あるもののサプライチェーンを考える
第7回	リオ宣言　リオ宣言を絵にしよう	事後：自分にできること考える
第8回	自然を感じよう	予習：日本在来の花を春夏秋冬2種調べる
第9回	日本の本来の自然VS外来生物	予習：外来生物の問題点と対策を考える
第10回	生物を守る条約&法律　ワシントン条約など	予習：ワシントン条約について調べる
第11回	自分の学んでいるコースと野生生物	予習：自分の学科と野生生物との関係を調べる
第12回	生き物たちの喫茶店（生態系ネットワーク）	予習：街中で人間と生き物たちの両方にとって良い場所を探す
第13回	環境とオリンピック	予習：オリンピックで環境配慮していることを調べる
第14回	明るい未来に 地球を守ろうとしている企業の試み	予習：自分が興味をもっている企業の環境保全の試みを調べる
第15回	美しい地球人に 自分と環境行動　ゴミはどこへ？下水の水はどうなるの？	予習：自分がやれる環境配慮行動を考え、行動する

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	テクニカル・ソーイングⅠ		
講義コード	D602		
開講責任部署	ファッションデザインコース		
講義開講時期	前期	講義区分	実習
基準単位数	2.00	時間	60.00
代表時限	１時限	代表曜日	金曜日
学年・クラス	16D	自習時間	30
選択必修区分	選択		
代表担当教員	吉田　美保		

意義と目的

製作を通し衣服構造の理解を深め、デザインに適した素材選択の知識を養い、縫製技術の向上を目指す。

到達目標

①工業用パターンを作製する。　②工業用の縫製方法でワンピースを製作する。　③裏地の役割を理解し、縫製できる。　④袖付けができる。

方法

サンプルの使用と、デモンストレーションによるポイント説明

評価方法

製作作品（３０%）、提出物（３０%）、授業態度（４０%）

留意事項

実習が中心の授業のため、欠席は厳禁です。やむを得ず欠席した場合は、次回の授業までに欠席した授業の内容を製作しておくこと。

教科書

書名1　著書名　　出版社　　書名2　　著書名　　出版社

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	ワンピースのデザインの考案	事前：ワンピースのデザイン、素材について考える
第2回	パターン作製（パターン展開）	事後：原型のダーツ操作を復習する
第3回	パターン作製（身頃①）	事後：パターン製作
第4回	パターン作製（身頃②）	事後：パターン製作
第5回	パターン作製（袖）	事後：1枚袖のパターンを理解する
第6回	パターン作製（シーチング①）	事前：平面パターンを完成し、授業にのぞむ
第7回	パターン作製（シーチング②）	事後：シーチング作製
第8回	パターン作製（立体）	事後：シーチング作製
第9回	パターン作製（フィッティング）	関連：試着チェックを受ける
第10回	パターン作製（修正）	パターン修正
第11回	パターン作製（工業用パターン、表地①）	事後：工業用パターンを理解する
第12回	パターン作製（工業用パターン、表地②）	事後：工業用パターンを理解する
第13回	パターン作製（工業用パターン、裏地①）	事後：裏地のパターンを理解する
第14回	パターン作製（工業用パターン、裏地②）	事後：裏地のパターンを理解する
第15回	パターン作製（パターンチェック）	事後：工業用パターンを完成させる
第16回	裁断（表地）	事前：布地の準備をする
第17回	裁断（裏地）	事前：布地の準備をする
第18回	裁断（芯接着）	事後：すべての裁断を終了させておく
第19回	縫製（表地①）	事後：縫製
第20回	縫製（表地②）	事後：縫製
第21回	縫製（裏地①）	関連：裏地の付け方を理解する
第22回	縫製（裏地②）	事後：縫製
第23回	縫製（ファスナー付け①）	事前：ファスナーの付け方を復習する
第24回	縫製（ファスナー付け②）	事後：縫製
第25回	縫製（肩～脇縫い）	事後：縫製
第26回	縫製（衿～見返し）	事後：縫製
第27回	縫製（袖作り）	関連：袖の作り方を理解する
第28回	縫製（袖付け）	関連：袖付けを理解する
第29回	縫製（裾上げ、中とじ）	事後：縫製
第30回	縫製（まとめ）	事後：ノートまとめ

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	パーソナルスタイリング		
講義コード	D603		
開講責任部署	ファッションデザインコース		
講義開講時期	前期	講義区分	演習
基準単位数	2.00	時間	30.00
代表時限	３時限	代表曜日	水曜日
学年・クラス	16D	自習時間	60
選択必修区分	選択		
代表担当教員	中村　美香子		

意義と目的

ファッションの変遷を学び、服選びの優先順位、配色バランス
コーディネートを学ぶ。

到達目標

①T.P.Oを考えコーディネートが出来る
②小物使いが上手になる
③コンプレックス解決を学ぶ

方法

プレゼンテーション、実践でコーディネートを理解できるように
進める。

評価方法

レポート課題（30%）、プレゼンテーション(30%)、授業態度
(20%)、その他提出物(20%)

留意事項

ライフスタイル、T.P.O、自分らしさ、小物使いを考えコーディ
ネートを学んでほしい。

教科書

書名1 大人の着やせバイブル 著書名　石田　純子　出版社
株式会社　主婦の友 書名2　　著書名　　出版社

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	レディース　歴史	レディースファッションの歴史を予習しておく
第2回	メンズ　歴史	メンズファッションの歴史を予習しておく
第3回	オシャレになるために	ルーティンを見直す
第4回	トレンド　１　レディース	現在のファッショントレンドを予習しておく
第5回	トレンド　２　メンズ	現在のファッショントレンドを予習しておく
第6回	T.P.Oについて　１　レディース	T.P.Oとは何かを予習する
第7回	T.P.Oについて　２　メンズ	T.P.Oとは何かを予習する
第8回	ファッション小物使い　スカーフ、その他	ファッション小物とは何か
第9回	ファッション小物使い　アクセサリー	ファッション小物とは何か
第10回	着痩せ効果、縦長効果	コンプレックスの解決法
第11回	着痩せ効果、縦長効果	コンプレックスの解決法
第12回	スタイリング　１　レディース	着回し法
第13回	スタイリング　２　メンズ	着回し法
第14回	ドレスコードとは	ドレスコードの重要性
第15回	プレゼンテーション　学期末	テーマに合わせてプレゼンテーションをする

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	メイクの基礎		
講義コード	D604		
開講責任部署	ファッションデザインコース		
講義開講時期	前期	講義区分	演習
基準単位数	1.00	時間	30.00
代表時限	４時限	代表曜日	木曜日
学年・クラス	16D	自習時間	15
選択必修区分	選択		
代表担当教員	榊原　桜		

意義と目的

正しいスキンケア法と肌知識を学び、自身の肌を知る。似合うナチュラルメイクを習得する。さらにファッションメイクについて学ぶ。

到達目標

自身に似合うナチュラルメイク技法を習得することができる。

方法

理論とデモンストレーションで理解を深め、実習で技術を習得することができるよう進める。

評価方法

期末試験60%
授業態度40%

留意事項

受講にあたって：２回目以降の授業は主に実習になります。自分のお顔にメイクをしていきますので、授業前にメイクは落としておいてください。

教科書

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	メイクアップ概論	事後：ナチュラルメイクをマップしておく
第2回	肌知識とスキンケア	事後：肌タイプを調べる
第3回	ファンデーションの種類とタイプ	事前：ファンデーションにはどのくらいの種類があるか調べる
第4回	ファンデーションテクニック１	事前：肌タイプとファンデーションの関係を調べる
第5回	ファンデーションテクニック２　コンシーラーと骨格補正	事前：肌タイプとファンデーションの関係を調べる
第6回	アイメイクテクニック　アイシャドーのフォルム	事前：様々なアイメイクパターンの資料を集める
第7回	アイメイクテクニック　アイラインとマスカラ	事前：マスカラの種類とそれぞれの効果を調べる
第8回	アイブローテクニック　　フォルムとプロポーション	事前：アイブローツールの種類とフォルムによる印象の違いを考察する
第9回	チークメイクテクニック　　骨格と補正	事前：チークの入れ方による効果を調べる
第10回	リップメイクテクニック　　質感と似合わせ	事前：流行の唇をマップしておく
第11回	フィニッシュメイクテクニック　　質感と補正	事前：肌質による印象の違いを考察する
第12回	ファションメイクとは	事前：コレクションからファッショントレンドメイクの資料を集める
第13回	ファションメイクとナチュラルメイク	事前：コレクションからファッショントレンドメイクの資料を集める
第14回	ファションメイクデザイン	事前：コレクションからファッショントレンドメイクの資料理を集める
第15回	ナチュラルメイクアップの提案	事前：ノートをまとめ、メイクレシピを作成しておく

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	ファッションデザイン画Ⅱ		
講義コード	D605		
開講責任部署	ファッションデザインコース		
講義開講時期	前期	講義区分	演習
基準単位数	1.00	時間	30.00
代表時限	２時限	代表曜日	水曜日
学年・クラス	16D	自習時間	15
選択必修区分	選択		
代表担当教員	横井　真弓		

意義と目的

一年間練習したことを基本に、自由な発想で描き、彩色する事で生き生きと広がるデザイン画を楽しむ。

到達目標

自分のイメージするデザインを筆・まーかなどを使い個性的で楽しいデザイン画を目指す。

方法

着色のしくみ　画材の組み合わせの効果をテーマに合わせて練習する。

評価方法

・課題に合わせたデザイン提出　７０％　・時前授業（自習）課題　２０％　・授業態度　１０％

留意事項

・提出期限は必ず守る事　・雑誌、生地見本などイメージに関係する資料を集める。

教科書

書名1　著書名　　出版社　　書名2　　著書名　　出版社

参考文献

ファッション雑誌等

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	NDCファッションコンテスト実習	事後：プロポーション練習
第2回	NDCファッションコンテスト実習	事後：授業時間内にできなかった所仕上げ
第3回	NDCファッションコンテスト実習	事後：授業時間内にできなかった所仕上げ
第4回	NDCファッションコンテスト実習	**事前：時間内に完成出来る様にする**
第5回	①テーマ別デザイン画（テキスタイル）	**事前：素材収集**
第6回	①テーマ別デザイン画（テキスタイル）	事後：授業時間内にできなかった所仕上げ
第7回	①テーマ別デザイン画（テキスタイル）	**事前：時間内に完成出来る様にする**
第8回	②テーマ別デザイン画（トレンド）	関連：コレクション雑誌で情報集める
第9回	②テーマ別デザイン画（トレンド）	関連：コレクション別デザイナー別に研究する
第10回	②テーマ別デザイン画（トレンド）	事前：時間内に出来る様にする。
第11回	ファッションフェスタ用デザイン画	事前：スケッチ　下書き。
第12回	ファッションフェスタ用デザイン画	**事前　時間内に完成出来る様にする**
第13回	テーマ別　デザイン画	事前　デザインスケッチ 事後　授業時間内にできなかった所仕上げ
第14回	テーマ別　デザイン画	事前　デザインスケッチ 事後　授業時間内にできなかった所仕上げ
第15回	テーマ別　デザイン画	事前　デザインスケッチ 事後　授業時間内にできなかった所仕上げ

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	パターンメイキング検定Ⅱ		
講義コード	D606		
開講責任部署	ファッションデザインコース		
講義開講時期	前期	講義区分	講義
基準単位数	2.00	時間	60.00
代表時限	３時限	代表曜日	月曜日
学年・クラス	16D	自習時間	30
選択必修区分	選択		
代表担当教員	渡邉　加奈		

意義と目的

ファッション産業で求められるパターンメイキング技術・能力を身につけ、実践できる能力を養う。

到達目標

パターンメイキング検定３級に合格することができる。

方法

テキストを使った過去問説明と、見本を使ったデモンストレーションでポイントを説明する。

評価方法

筆記製図課題３０％　ドレーピング５０％　授業態度２０％

留意事項

授業後必ず復習をし、不明点は必ず確認し理解に努めてください。
自習時間は過去問題の繰り返し学習に努めてください。

教科書

パターンメーキング技術検定試験３級ガイドブック　一般財団法人　日本ファッション教育振興協会

参考文献

パターンメーキング技術検定試験３級試験問題　解答・解説集【改訂版】　一般財団法人　日本ファッション教育振興協会

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	前期　試験内容の確認 筆記試験理論対策	試験要項の内容の把握
第2回	筆記試験理論対策	過去問題の繰り返し練習
第3回	実技試験製図の基礎	基礎パターンの復習とまとめ
第4回	実技試験ドレーピングの基礎Ａ	実技試験の問題を把握とポイントの把握
第5回	実技試験ドレーピングの基礎Ｂ	実技試験の問題を把握とポイントの把握
第6回	筆記試験縮尺製図対策	過去問題の繰り返し練習
第7回	筆記試験縮尺製図対策	過去問題の繰り返し練習
第8回	筆記試験縮尺製図対策	不明点を明確にする
第9回	実技試験対策Ａ	製図方法をまとめる
第10回	実技試験対策Ｂ	製図方法をまとめる
第11回	実技試験対策Ａ	パターンの確認と練習
第12回	実技試験対策Ｂ	パターンの確認と練習
第13回	実技試験Ａ課題模擬	パターンの確認と練習
第14回	実技試験Ｂ課題模擬	パターンの確認と練習
第15回	試験事前準備と確認	試験事前準備

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	パターンメイキング		
講義コード	D607		
開講責任部署	ファッションデザインコース		
講義開講時期	前期	講義区分	実習
基準単位数	2.00	時間	60.00
代表時限	２時限	代表曜日	火曜日
学年・クラス	16D	自習時間	30
選択必修区分	選択		
代表担当教員	渡邉　加奈		

意義と目的

１年次に学んだ基礎をベースに、さまざまなデザインに対応できる製図力を身につける。

到達目標

原型からのパターン展開によるファーストパターンから工業用パターンまでの展開ができる。
造形パターンの製作ができる。

方法

サンプルの使用とデモンストレーションによるポイント説明

評価方法

平面作図４０％　ＣＡＤパターン４０％　授業態度２０％

留意事項

２種類の実習が組み込まれているため、欠席は厳禁です。

教科書

被服構成　名古屋文化短期大学厚生研究室著

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	パニエ①（ＣＡＤ）	資料まとめ
第2回	パニエ②（ＣＡＤ）	資料まとめ
第3回	パニエ③（ＣＡＤ）	資料まとめ
第4回	パニエ④（ＣＡＤ）	資料まとめ
第5回	パニエ⑤（ＣＡＤ）	資料まとめ
第6回	台衿付シャツカラー①（ＣＡＤ）	資料まとめ
第7回	台衿付シャツカラー②（ＣＡＤ）	資料まとめ
第8回	台衿付シャツカラー③（ＣＡＤ）	資料まとめ
第9回	立体造形①（ＣＡＤ）	資料まとめ
第10回	立体造形①（ＣＡＤ）	資料まとめ
第11回	立体造形①（ＣＡＤ）	資料まとめ
第12回	立体造形②（ＣＡＤ）	資料まとめ
第13回	ジャケットパターン	授業指示課題
第14回	ジャケットパターン	授業指示課題
第15回	ジャケットパターン	授業指示課題
第16回	立体造形②（ＣＡＤ）	資料まとめ
第17回	ジャケットパターン	授業指示課題
第18回	ジャケットパターン	授業指示課題
第19回	ジャケットパターン	授業指示課題
第20回	ジャケットパターン	授業指示課題
第21回	立体造形②（ＣＡＤ）	資料まとめ
第22回	ジャケットパターン	授業指示課題
第23回	ジャケットパターン	授業指示課題
第24回	ジャケットパターン	授業指示課題
第25回	ジャケットパターン	授業指示課題
第26回	立体造形②（ＣＡＤ）	資料まとめ
第27回	ジャケットパターン	授業指示課題
第28回	ジャケットパターン	授業指示課題
第29回	ジャケットパターン	授業指示課題
第30回	ジャケットパターン	授業指示課題

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	立体裁断Ⅱ		
講義コード	D608		
開講責任部署	ファッションデザインコース		
講義開講時期	前期	講義区分	演習
基準単位数	2.00	時間	60.00
代表時限	１時限	代表曜日	木曜日
学年・クラス	16D	自習時間	30
選択必修区分	選択		
代表担当教員	山下　多津子		

意義と目的

立体裁断をする事によって、バランス、シルエット等の作り方技術をマスター出来る様にする事。

到達目標

地の目を見ながら自分が作りたいシルエットをピンクで美しく作成出来る様にする事。アイテムに応じてゆとり分をバランス良く入れる事が出来る様になる。

方法

しっかりと見る目を作る事、地の目、バランス、衿ぐりの書き方、袖ぐり等を毎回くり返しやってく事で少しずつ出来る様にする。

評価方法

授業態度（３０％）　創造性（２０％）　理解度（２０％）　作品の完成度（３０％）

留意事項

教科書

書名1　著書名　　出版社　　書名2　　著書名　　出版社

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	オーバーブラウス見積もり作り、ドラフティング	事後：立体裁断Ⅰの復習
第2回	ドラフティング後、組み立て　オーバーブラウス衿付け　袖作り	事後：ノートまとめ
第3回	オーバーBL完成　ディオールラインブラウス身頃もり	事後：ノートまとめ
第4回	オールラインBL　見頃　ドラフティング→後　組み立て	事後：ノートまとめ
第5回	テーラー衿付け、袖付け	事後：テーラー襟のまとめ
第6回	ディオールラインBL、袖付け	事後：ディオールラインのまとめ
第7回	トラフティング→組み立て　衿	事後：ディオールラインのまとめ
第8回	袖作り　袖付け　完成	事後：ディオールラインのまとめ
第9回	ラグランスリーヴ.BL　身頃作り、ドラフティング→組み立て	事後：ラグランスリーヴのまとめ
第10回	袖作り　ラクラン袖　完成	事後：ラグランスリーヴのまとめ
第11回	衿作り　衿付け	事後：ラグランスリーヴのまとめ
第12回	着物フリーヴ　見頃、袖作り　ドラフティング	事後：着物スリーヴのまとめ
第13回	組み立て　衿付け	事後：着物スリーヴのまとめ
第14回	自由作品（コート等）　（ジャケット等）	事前：資料の収集
第15回	〃	事前：資料の収集
第16回	ボディにテープ貼り　スカート講義	事後：スカートのまとめ
第17回	ヨーク切替スカート　トラフティング→組み立て、仕上げ	事後：ノートまとめと資料整理
第18回	サイドダーツBL　見頃 ドラフティング	事後：ノートまとめと資料整理
第19回	組み立て　衿付け　袖作り　袖付け	事後：ノートまとめと資料整理
第20回	サイドダーツBL　完成　オーバーBL　身頃作り	事後：ノートまとめと資料整理
第21回	ドラフティング→組み立て	事後：ノートまとめと資料整理
第22回	袖付け　オールBL　完成	事後：ノートまとめと資料整理
第23回	ショールカラーOP　見頃	事後：ノートまとめと資料整理
第24回	組み立て　スカート作り　ドラフティング	事後：ノートまとめと資料整理
第25回	衿付け、袖作り	事後：ノートまとめと資料整理
第26回	袖付け、OP、完成	事後：ノートまとめと資料整理
第27回	ドラフティング　組み立て	事後：ノートまとめと資料整理
第28回	スカート作り　ドラフティング　組み立て	事後：ノートまとめと資料整理
第29回	衿付け、袖作り	事後：ノートまとめと資料整理
第30回	袖付け、ローウエストOP完成	事後：ノートまとめと資料整理

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	心理学		
講義コード	D609		
開講責任部署	ファッションデザインコース		
講義開講時期	前期	講義区分	講義
基準単位数	2.00	時間	30.00
代表時限	５時限	代表曜日	金曜日
学年・クラス	16D	自習時間	60
選択必修区分	選択		
代表担当教員	成田　絵吏		

意義と目的

心理学についての知識や理解を深め、自ら疑問に対して考察する、探求していく力を培う。

到達目標

心理学についてさまざまな分野があり、それを理解した上で、日常生活の中での疑問など心理学的な視点から考察しようという試みができる。

方法

日常生活や映画などを用いながら、身近なこととして心理学への関心や理解が出来るように講義を行う。

評価方法

レポート課題(60%)、その他の提出物(20%)、授業態度(20%)

留意事項

受け身的に講義を受けるのではなく、自分自身で考えをめぐらせるなど主体的に講義で取り扱った内容を考察する。

教科書

書名1　著書名　　出版社　　書名2　　著書名　　出版社

参考文献

心理学に関する書籍など

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	オリエンテーションと心理学について	心理学にも様々な分野があることを理解する
第2回	認知の心理学～本当に正しく見ているか？～	人間の感覚、知覚、記憶に関する理解を深める
第3回	認知の心理学②～人の記憶の世界？～	人間の感覚、知覚、記憶に関する理解を深める
第4回	学習の心理学①～学習しやすい時期はあるのか？～	学習のプロセスや動機づけなどについて理解を深める
第5回	学習と発達の心理学～映画から見ることばを学習すること～	学習のプロセスや動機づけなどについて理解を深める
第6回	学習の心理学②～条件づけとやる気～	学習のプロセスや動機づけなどについて理解を深める
第7回	発達の心理学～人は一生発達する～	人間の発達についての理解を深める
第8回	発達の心理学②～キャリア発達～	キャリア発達に関する理解を深める
第9回	発達の心理学③～映画から見る発達のかたより～	さまざまな発達の偏りについて理解を深める
第10回	これまでのまとめ	これまで学んだ心理学についてまとめ、自分の関心のある領域について探求する
第11回	心の健康と心理学～異常、ストレスってなんだろう？～	正常、異常とはなにか自ら考察し、臨床心理学につて適切な理解を深める
第12回	心の健康と心理学②～あなたのストレス対処～	ストレスに対するコーピングについてや、自分とは異なる他者理解を深める
第13回	社会と心理学①～コミュニケーションのいろいろな形～	コミュニケーションのありようについて自分自身のをふりかえる
第14回	社会と心理学②～人の話をちゃんと聞くということ～	よりよいコミニュケーションスタイルについて考察する
第15回	総括	これまで学んだ心理学についてまとめ、自分の関心のある領域について探求する

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	フランス語Ｉ		
講義コード	D610		
開講責任部署	ファッションデザインコース		
講義開講時期	前期	講義区分	演習
基準単位数	1.00	時間	30.00
代表時限	５時限	代表曜日	火曜日
学年・クラス	16D	自習時間	15
選択必修区分	選択		
代表担当教員	ペリエ　岩田　フロラン		

意義と目的

フランス語を学生に理解

到達目標

フランス語で物事をシンプルに表現するために学生に基本的なツールを提供

方法

毎週、レッスンの目的を説明してからクラースが始まります。次は教科書のレッスンのプレゼンテーション。説明する事をいつもボードに書きます。

評価方法

筆記テスト。ノートと教科書と日仏辞書は持ち込みOK。テストで出る問題は：日本語の文章をフランス語に訳する事とフランス語の質問にフランス語で答える事です。

留意事項

バラバラのシートよりもノートを使ってください。毎週日つけとレッスンの内容を書き忘れないように。

教科書

書名1 F comme français 著書名　Tomoko Fujita, Yasuko Tanabe, Keiichi Naganuma, Sachiko Sakurai　出版社 surugadai shuppansha 書名2　　著書名　　出版社

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	自己紹介、前期のプログラームのプレゼンテーション、教科書の使い方、方法、目的、目標、テストの内容。フランス語の発音、挨拶の単語。	
第2回	先週のまとめ。フランス語の最初の単語パート２。一番シンプルな文章：主語と動詞。フランス語の文法の一番大切なルールの説明。	
第3回	先週のまとめ。数字、初めての動詞活用。使い方練習。教科書持ち込み聞き取り。	
第4回	先週のまとめ。国籍と名刺の男性形と女性形。質問答えの練習。	
第5回	先週のまとめ。職業と名刺の男性形と女性形。次の動詞の活用と使いかた。質問答えの練習。	
第6回	先週のまとめ。好み表す動詞、活用と使いかた。le café とla boulangerie の語彙。	
第7回	先週のまとめ。趣味と単純活動表す動詞活用と使いかた、もう一回自己小愛する事。	
第8回	先週のまとめ。好み表す動詞+原型、質問答え、練習。	
第9回	先週のまとめ、ノート持ち込み聞き取り。be動詞利用して質問と答え作る。	
第10回	先週のまとめ。動詞活用の復習、質問答えを作るの復習。	
第11回	Video; Bonjour Paris. Leçon 0, leçon 1, 否定形：自己紹介から使い方練習。	
第12回	先週のまとめ。Bonjour Paris; leçon 2.日常会話パート１	
第13回	先週のまとめ。Bonjour Paris; leçon 3. 日常会話パート２	
第14回	前期のまとめ。復習	
第15回	前期テスト	

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	中国語Ⅰ		
講義コード	D611		
開講責任部署	ファッションデザインコース		
講義開講時期	前期	講義区分	演習
基準単位数	1.00	時間	30.00
代表時限	５時限	代表曜日	月曜日
学年・クラス	16D	自習時間	15
選択必修区分	選択		
代表担当教員	陳　晨		

意義と目的

語学力を生かして社会貢献を行うこと、また自分自身を磨くことを心がけてみましょう。中国語の学習は、英語より差がつきやすく、将来のキャリアデザインに役立つことが大いに期待されています。

到達目標

初期段階における発音のコツ（アクセント・発声）、基本表現（日常会話・旅行会話）を習得すること、また中国語検定準４級に準ずるレベルに到達することを目指しましょう。

方法

教材を中心に学習する予定です。授業の前半は講義形式で、後半から学生さんからの朗読、会話練習、スピーチ発表などの演習形態に変わります。

評価方法

１）期末筆記試験（９０％）　　２）授業態度（１０％）

留意事項

原則として前期・後期両方の履修登録が望まれます。（学習1年後、中国語検定準４級に準ずるレベルに到達する見込み）。また、教科書の購入と持参は必須です。

教科書

書名1 中国語の１年め 著書名　緒方昭・小林光考編　出版社 白水社 書名2　　著書名　　出版社

参考文献

テキストに付属のCDと練習冊を活用してください。

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	中国語と中国：私たちが学ぶ「中国語」とは？	教科書の「中国語プロローグ」を予習すること。
第2回	発音学習①　中国語のアクセント（四声・軽声）と単母音	いままで知っている中国語の単語とそのイメージを思い出すこと
第3回	発音学習②　子音	前回の復習が必要なこと。
第4回	発音学習③　鼻母音と複合母音	母音との比較を心がけること。
第5回	発音学習④　発音学習のまとめ・挨拶言葉	発音についてのまとめということで、以前の内容と関連づけて習得すること。
第6回	ピンインのテスト	発音を意識して、放課後の復習とCDを聞くことが望まれる。
第7回	第１課　中国人留学生と知り合う。（自己紹介・人称代名詞・疑問文の表現）	発音を意識して、放課後の復習とCDを聞くことが望まれる。
第8回	第２課　携帯の写真を見て。（動詞述語文・指示代名詞・的の用法）	発音を意識して、放課後の復習とCDを聞くことが望まれる。
第9回	第３課　一緒に勉強しましょう。（形容詞述語文・所有を表す表現・時を表す語の位置）	発音を意識して、放課後の復習とCDを聞くことが望まれる。
第10回	第４課　ファストフード店で。（場所を表す代名詞）	発音を意識して、放課後の復習とCDを聞くことが望まれる。
第11回	中国語映画鑑賞①	鑑賞後の感想文（日本語）を提出すること
第12回	第５課　Tシャツを買う。（数詞、量詞）	発音を意識して、放課後の復習とCDを聞くことが望まれる。
第13回	第６課　何を食べたい？（助動詞）	発音を意識して、放課後の復習とCDを聞くことが望まれる。
第14回	全体の復習	発音を意識して、放課後の復習とCDを聞くことが望まれる。
第15回	模擬小テスト	発音を意識して、放課後の復習とCDを聞くことが望まれる。

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	英語コミュニケーションⅢ		
講義コード	D612		
開講責任部署	ファッションデザインコース		
講義開講時期	前期	講義区分	演習
基準単位数	1.00	時間	30.00
代表時限	４時限	代表曜日	火曜日
学年・クラス	16D	自習時間	15
選択必修区分	選択		
代表担当教員	吉村　いづみ		

意義と目的

英語のコミュニケーション力をつけるとともに、TOEICなどの資格試験で高得点を目指す。

到達目標

一人で海外旅行に行き、空港やホテル、現地の観光名所で基礎的なコミュニケーションができる。TOEICで450から500点を取得できる英語力がある。

方法

TOEIC形式のテキストを使い、語彙、表現、リスニング力、リーディング力を鍛える。翌週は、毎回小テストを行い、前週に覚えた語彙をチェックする。

評価方法

小テスト20%、授業参加度20%、定期試験60%。

留意事項

新しい語彙はその都度覚えて使えるようにすること。

教科書

旅英語の心得　Enjoy Your Trip!　English you need abroad

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	At the airport （空港で必要な表現）	学んだ語彙、表現は全て覚えること
第2回	On the plane（機内で使える表現）	学んだ語彙、表現は全て覚えること
第3回	Arrival （到着後、入管、税関で使える表現）	学んだ語彙、表現は全て覚えること
第4回	Checking in at the hotel（ホテルの宿泊）	学んだ語彙、表現は全て覚えること
第5回	Getting information and sightseeing（観光）	学んだ語彙、表現は全て覚えること
第6回	Ordering fast food（ファストフードの注文）	学んだ語彙、表現は全て覚えること
第7回	Going to the theater（観劇に使える表現）	学んだ語彙、表現は全て覚えること
第8回	At the restaurant （レストランの英語）	学んだ語彙、表現は全て覚えること
第9回	Shopping （買い物で使える表現）	学んだ語彙、表現は全て覚えること
第10回	Lost and found （紛失物を説明する）	学んだ語彙、表現は全て覚えること
第11回	Using public transportation（公共交通を使う）	学んだ語彙、表現は全て覚えること
第12回	Renting a bike （自転車を借りてみよう）	学んだ語彙、表現は全て覚えること
第13回	Finding your way around（道案内の英語）	学んだ語彙、表現は全て覚えること
第14回	Medical care （医療の基本表現）	学んだ語彙、表現は全て覚えること
第15回	Leaving for home（帰国時の表現）	学んだ語彙、表現は全て覚えること

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	情報処理演習Ⅲ		
講義コード	D613		
開講責任部署	ファッションデザインコース		
講義開講時期	前期	講義区分	演習
基準単位数	1.00	時間	30.00
代表時限	１時限	代表曜日	水曜日
学年・クラス	16D	自習時間	15
選択必修区分	選択		
代表担当教員	冨永　将史		

意義と目的

実社会においては、様々な場面で情報を視覚的に表現する技術が要求される。
図形や文章等の情報を表現する能力を習得し、プレゼンテーションやホームページを作成する技術を養う。

到達目標

・パワーポイント・ホームページビルダーを理解できる
・プレゼンテーション作成検定試験２級程度の技能を持つことができる
・ホームページ作成検定試験２級程度の技能を持つことができる

方法

プレゼンとＷｅｂサイトの基礎について講義で学ぶ
パワーポイントとホームページビルダーの操作方法についてテキストを基に学ぶ
試験問題集を繰り返し解くことで理解を深める

評価方法

プレゼンテーション作成実技試験 ４０％
ホームページ作成実技試験 ３５％
授業態度 １５％
資格試験合格 プレゼン５％，ホームページ５％

留意事項

本授業は実技演習が主体であり、特に利用ソフトの使用法を学ぶ回を休むと挽回が困難になるため欠席しないこと。
授業では扱う教科書（問題集）を忘れないこと。

教科書

プレゼンテーション作成検定試験模擬問題集 １・２級編：日本情報処理検定協会
ホームページ作成検定試験模擬問題集 ２級編：日本情報処理検定協会

参考文献

日本情報処理検定協会 ワンポイント
https://www.goukaku.ne.jp/text_onepoint.html#SP

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	プレゼンテーションソフトPoewrPointの概要 パワーポイントを用いた自己紹介の作成	事後：日本情報処理検定協会のＷｅｂサイトを確認する
第2回	PoewrPoint：文字とフォント、図形、画像の挿入、表の挿入など ３級問題内容	事前：「プレゼンテーション作成検定試験」ワンポイントを確認する 事後：途中までの練習問題を完成させる
第3回	PoewrPoint：図形の加工、グラフの挿入など ２級問題内容	事前：「プレゼンテーション作成検定試験」ワンポイントを確認する 事後：途中までの練習問題を完成させる
第4回	インターネットとホームページの概要 HP：文字、画像、表、リンク、複数ページ、フレームページの作成 ２級問題内容	事前：「ホームページ作成検定試験」ワンポイントを確認する 事後：日本情報処理検定協会のＷｅｂサイトを確認する 事後：途中までの練習問題を完成させる
第5回	PoewrPoint：試験模擬問題の練習①	事前：「プレゼンテーション作成検定試験」ワンポイントを確認する 事後：途中までの練習問題を完成させる
第6回	PoewrPoint：試験模擬問題の練習②	事後：途中までの練習問題を完成させる
第7回	PoewrPoint：試験模擬問題の練習③	事後：途中までの練習問題を完成させる
第8回	HP：試験模擬問題の練習①	事前：「ホームページ作成検定試験」ワンポイントを確認する 事後：途中までの練習問題を完成させる
第9回	HP：試験模擬問題の練習②	事後：途中までの練習問題を完成させる
第10回	HP：試験模擬問題の練習③	事後：途中までの練習問題を完成させる
第11回	PoewrPoint：試験対策	事後：授業時間内に未実施の課題を行う
第12回	PoewrPoint：検定試験	事前：「プレゼンテーション作成検定試験」ワンポイントを確認する
第13回	ＨＰ：試験対策	事後：授業時間内に未実施の課題を行う
第14回	ＨＰ：検定試験	事前：「ホームページ作成検定試験」ワンポイントを確認する
第15回	結果の自己分析と対策	事後：結果を振り返り間違っていた箇所を再度確認する

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	ファッション文化論		
講義コード	D651		
開講責任部署	ファッションデザインコース		
講義開講時期	後期	講義区分	講義
基準単位数	2.00	時間	30.00
代表時限	１時限	代表曜日	木曜日
学年・クラス	16D	自習時間	60
選択必修区分	選択		
代表担当教員	太田　寿江		

意義と目的

最新ファッションと変遷を学び、過去と今、日本と西洋との関わりを考える。さらに、日本文化の美意識やその影響力を学ぶ。また、レポートのまとめ方を習得する。

到達目標

・今のファッションを過去との関わりで捉えることができる。
・日本文化の美意識の高さがわかる。　・レポートにまとめることができる。

方法

映像や実物等のヴィジュアルを多用して感覚で捉えて理解できるように進める。また、レポートのまとめ方もていねいに指導する。

評価方法

レポート（60%）、その他の提出物（20%）、授業態度（20%）

留意事項

最新ファッション情報を紹介しながら進めるが、常に過去や芸術等と関わらせてほしい。

教科書

参考文献

ファッション雑誌、服飾史関係書物、美術関係資料

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	これまでのファッションの変遷	関連：過去のファッションに関する資料を調べる
第2回	これまでのファッションの変遷	関連：過去のファッションに関する資料を調べる
第3回	最新トレンドファッションの鑑賞、原点を考える	事後：原点を探す
第4回	最新トレンドファッションの鑑賞、原点を考える	事後：原点を探す
第5回	最新トレンドファッションの鑑賞、原点を考える	事後：原点を探す
第6回	ジャポニスムファッションの変化	関連：ジャポニスムファッションに関する資料収集
第7回	ジャポニスムファッションの変化	関連：ジャポニスムファッションに関する資料収集
第8回	ジャポニスムファッションの変化	事後：ジャポニスムファッションに関する資料収集
第9回	ジャポニスムファッションの変化、レポート課題	関連：ジャポニスムファッションに関する資料収集
第10回	現代にみるジャポニスムファッション	事後：ジャポニスムファッションに関する資料収集
第11回	現代にみるジャポニスムファッション	関連：ジャポニスムファッションに関する資料収集
第12回	現代にみるジャポニスムファッション、レポート指導	事後：レポート作成、ジャポニスムファッションに関する資料収集
第13回	現代にみるジャポニスムファッション、レポート指導	事後：レポート作成、ファッション資料収集
第14回	最新トレンドファッションの傾向	関連：ファッション資料収集
第15回	今後のファッションを読む	事前：これまで学んだことから今後のファッションを考える

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	テクニカル・ソーイングⅡ		
講義コード	D652		
開講責任部署	ファッションデザインコース		
講義開講時期	後期	講義区分	実習
基準単位数	2.00	時間	60.00
代表時限	１時限	代表曜日	水曜日
学年・クラス	16D	自習時間	30
選択必修区分	選択		
代表担当教員	吉田　美保		

意義と目的

習得した衣服製作をもとに、より高度な技術と知識を習得する。

到達目標

①工業用の縫製技術で、ジャケットを縫製する。　②テーラー衿、二枚袖、総裏始末の縫製ができる

方法

サンプルの使用と、デモンストレーションによるポイント説明

評価方法

製作作品（３０％）、提出物（３０％）、授業態度（４０％）

留意事項

実習が中心の授業のため、欠席は厳禁です。やむを得ず欠席した場合は、次回の授業までに欠席した授業の内容を製作しておくこと。

教科書

書名1　著書名　　出版社　　書名2　　著書名　　出版社

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	ポケットの部分縫い（裁断）	事前：ポケットの種類を調べる
第2回	ポケットの部分縫い（パッチポケット）	事後：パッチポケットの作り方を理解する
第3回	ポケットの部分縫い（箱ポケット①）	事後：パッチポケットの作り方を理解する
第4回	ポケットの部分縫い（箱ポケット②）	事後：箱ポケットの作り方を理解する
第5回	ポケットの部分縫い（玉縁フラップポケット①）	事後：箱ポケットの作り方を理解する
第6回	ポケットの部分縫い（玉縁フラップポケット②）	事後：玉縁フラップポケットの作り方を理解する
第7回	裁断（表地）	事前：布地の準備をする
第8回	裁断（芯地）	事後：布の扱い方をまとめる
第9回	裁断（芯接着）	事後：布の扱い方をまとめる
第10回	裁断（裁ち合わせ①）	事後：ノートまとめ
第11回	裁断（裁ち合わせ②）	事後：ノートまとめ
第12回	裁断（裏地）	事後：すべての裁断を終了させておく
第13回	縫製（裏地①）	事前：裏地の縫い方を復習しておく
第14回	縫製（裏地②）	事前：裏地の縫い方を復習しておく
第15回	縫製（表地①）	事後：ノートまとめ
第16回	縫製（表地②）	関連：伸び止めテープの使い方を覚える
第17回	縫製（ポケット付け①）	事前：ポケットの作り方を復習しておく
第18回	縫製（ポケット付け②）	事後：ノートまとめ
第19回	縫製（肩～脇縫い①）	事後：縫製
第20回	縫製（肩～脇縫い②）	事後：縫製
第21回	縫製（衿～見返し①）	事後：縫製
第22回	縫製（衿～見返し②）	事後：テーラー衿の作り方を理解する
第23回	縫製（袖作り①）	事前：袖の作り方を調べる
第24回	縫製（袖作り②）	事後：２枚袖の作り方を理解する
第25回	縫製（袖付け①）	事後：2枚袖の作り方を理解する
第26回	縫製（袖付け②）	事後：袖付けの方法を復習する
第27回	縫製（中とじ、裾始末①）	事後：袖付けの方法を復習する
第28回	縫製（中とじ、裾始末②）	事後：縫製
第29回	まとめ	事前：ボタンの準備をする
第30回	着装評価	事後：ノートまとめ

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	パーソナル色彩学		
講義コード	D653		
開講責任部署	ファッションデザインコース		
講義開講時期	後期	講義区分	講義
基準単位数	2.00	時間	30.00
代表時限	２時限	代表曜日	木曜日
学年・クラス	16D	自習時間	60
選択必修区分	選択		
代表担当教員	疋田　千枝		

意義と目的

パーソナルカラーの理論、配色方法を学習し、コンセプトに沿った配色やマップ製作を習得する。またカラードレープ実習を通して似合う色の見分け方を習得する。

到達目標

①パーソナルカラーの理論を理解する。　②コンセプトに沿った配色ができるようになる。　③マップにまとめることができる。④似合う色が分かるようになる。

方法

パワーポイントでパーソナルカラーの理論を理解できるよう説明したり、マップの作成方法を丁寧に指導する。またカラードレープを使いカラー診断の指導をする。

評価方法

マップ製作　２５％　レポート課題　２５％　配色演習　２５％　授業態度　２５％

留意事項

日本パーソナルカラリスト協会主催パーソナルカラー検定２級の指導をしますので、合格を目指して過去問をしっかり取り組んで欲しい。

教科書

書名1 パーソナルカラー検定２級　公式テキスト 著書名　日本パーソナルカラリスト協会　出版社　(株)誠文堂新光社 書名2 著書名　　出版社

参考文献

・テキスト、　カラーパレット　（布色見本）、配色カード、スティック糊、はさみを必ず準備すること。

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	9/21　パーソナルカラーの歴史と理論　CUS表色系の色相環、色調	関連　パーソナルカラー検定テキスト、カラーパレット、配色カードなど教材を準備する。
第2回	9/28　色相配色、色調配色、アンダートーン	事後　色相環・色調プリントで復習
第3回	10/5　色相配色、色調配色、アンダートーン	**事後　過去問の取り組み**
第4回	10/12　ヨーロッパの歴史	**事後　プリントにまとめる**
第5回	10/19　染料、顔料	事後　プリントに配色カードを貼る。
第6回	10/26　パーソナルカラー4シーズン	事後　４シーズンの特徴をプリントにまとめる
第7回	11/2　テキスト全体	**事後　過去問の取り組み**
第8回	11/9　4シーズンマップ制作	事後　４シーズンの特徴に合った素材を収集
第9回	11/16　（11/19【日】検定日（未定））	事後　４シーズンの特徴に合った素材を収集
第10回	11/30　〃	事前　マップのレイアウトを考える
第11回	12/7　カラードレーピング実習	事後　カラー診断の分析結果をまとめる
第12回	12/14　カラードレーピング実習	事後　カラー診断の分析結果をまとめる
第13回	12/21　配色演習	事前　レポート作成に関する資料収集
第14回	1/11　配色演習	事前　レポート作成に関する資料収集
第15回	1/18　配色演習	事前　レポート作成に関する資料収集

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	販売演習		
講義コード	D654		
開講責任部署	ファッションデザインコース		
講義開講時期	後期	講義区分	演習
基準単位数	2.00	時間	60.00
代表時限	３時限	代表曜日	水曜日
学年・クラス	16D	自習時間	30
選択必修区分	選択		
代表担当教員	三浦　アンヌ		

意義と目的

普段何気なく受けている接客販売の体験を通して、ファッションアドバイザー(以下ＦＡ)に必要な技術を学び、社会人として必要なマナーやコミュニケーション力を習得する。

到達目標

販売の意味を理解し、ただ売ればよいというのではなく、お客様の心理に合った声掛け・ニーズの把握・提案ができる。

方法

『聴く』技術を大切にし、アプローチからお見送りまで、様々な場面でお客様の心理やニーズに応じた対応ができるよう、繰り返しロールプレイングを行いながら指導する。

評価方法

期末試験(30%)、実技(30%)、敬語・話法小テスト(20%)、レポート課題(15%)、授業態度(5%)

留意事項

最初から話上手・聴き上手という人はいません。コミュニケーションも接客も技術です。学び、磨くものです。そして、上達の秘訣は、実際に使ってみることです。

教科書

書名1　著書名　　出版社　　書名2　　著書名　　出版社

参考文献

月刊『ファッション販売』(商業界)

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	ＦＡの心構えと役割について	事後：第一印象の重要性をまとめる
第2回	上手な『聴き方』とは？	事後：『聞く』と『聴く』の違いを調べる
第3回	『あいづち』と『リフレーミング』	事後：リフレーミングのバリエーションを増やす
第4回	顧客の購買心理8段階	事後：8段階すべて書けるようにする
第5回	アプローチから会話を広げる	事後：アプローチのトークをリサーチする
第6回	ニーズを引き出す質問とは？	事後：質問についてリサーチする
第7回	アプローチ～商品提示ｊ～商品説明	事後：商品説明についてリサーチする
第8回	コミュニケーションを円滑にする5つの話法	事後：状況に応じたクッション言葉の練習
第9回	商品説明～コーディネート提案	事後：コーディネート提案についてリサーチする
第10回	悩み～問題解決～クロージング	事前：購入を妨げる要素を考える
第11回	試着のおすすめ	事前：試着中にすべきことを考える
第12回	迷った時の対応法	事前：迷いの原因を考える
第13回	レジ～お見送り	事前：印象に残るトークを考える
第14回	閑散期＆及び繁忙期の対応法	事後：休日と平日の対応法をリサーチする
第15回	プラスαのおすすめ	事前：関連商品の準備をする
第16回	プレゼント対応	事前：プレゼントの場面を考える
第17回	気持ちが伝わるお礼のしかた	事後：褒め日記をつけてみる
第18回	気持ちが伝わるお詫びのしかた	事後：お詫びのしかたを実践してみる
第19回	クレーム対応について	事後：クレームを未然に防ぐための方法を考える
第20回	お直しの基礎知識	事後：裾や袖口の構造を調べてみる
第21回	洗濯絵表示の読み方	事前：どのような洗濯絵表示があるか調べる
第22回	顧客管理について	事前：3回ご来店いただく方法を考える
第23回	サンキューレター・メールの書き方	事後：また足を運びたくなる文章を考える
第24回	スピーチ	事前：話す内容を考える
第25回	スピーチ	事前：話す内容を考える
第26回	ロープレ・話法・敬語まとめ	事前：各場面での接客のポイント・話法の復習
第27回	コンテスト形式ロープレ	事後：接客を振り返り、できた点と次回の課題を明確にする
第28回	コンテスト形式ロープレ	事後：接客を振り返り、できた点と次回の課題を明確にする
第29回	コンテスト形式ロープレ	事後：接客を振り返り、できた点と次回の課題を明確にする
第30回	コンテスト形式ロープレ	事後：接客を振り返り、できた点と次回の課題を明確にする

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	Ｗｅｂデザイン		
講義コード	D655		
開講責任部署	ファッションデザインコース		
講義開講時期	後期	講義区分	演習
基準単位数	2.00	時間	60.00
代表時限	３時限	代表曜日	木曜日
学年・クラス	16D	自習時間	30
選択必修区分	選択		
代表担当教員	津田　詩織		

意義と目的

将来、Web関係ではない職業についても、なんらかのカタチでWebと関係を持つ世の中になってきています。基礎を身に付け活用方法を学び今後の物事やツールの選択肢を増やすことが目的です。

到達目標

ebの基礎を知り、ホームページやネットショップなど、それぞれの目的にあったサイトのコンセプトを立て、企画、構成をして、それを基にサイトのデザイン制作ができるようになる。

方法

ツールとしてIllustratorやPhotoshopのＣＧソフトを使用し、自分の感性を生かしたオリジナリティあるホームページを作成する。

評価方法

授業態度　５０％
制作作品　５０％

留意事項

習ったことは実際にインターネットなどで確かめること。

教科書

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	Webデザインの基礎知識（１）	これまで習ったデザイン関係科目の復習
第2回	Illustratorを学ぶ （１）	Illustratorの各種機能を実際に使用してみる
第3回	Illustratorを学ぶ （２）	Illustratorの各種機能を実際に使用してみる
第4回	Illustratorを学ぶ（３）	Illustratorの各種機能を実際に使用してみる
第5回	Illustratorを学ぶ （４）	Illustratorの各種機能を実際に使用してみる
第6回	Illustratorを学ぶ（５）	Illustratorの各種機能を実際に使用してみる
第7回	Photoshopを学ぶ （１）	Photoshopの各機能を使用してみる
第8回	Photoshopを学ぶ（２）	Illustratorの各種機能を実際に使用してみる
第9回	Photoshopを学ぶ（３）	Illustratorの各種機能を実際に使用してみる
第10回	Photoshopを学ぶ（４）	Illustratorの各種機能を実際に使用してみる
第11回	Photoshopを学ぶ（５）	Illustratorの各種機能を実際に使用してみる
第12回	Iデザイン制作（１）	インターネットでイメージごとのデザインを検索
第13回	デザイン制作（２）	インターネットでイメージごとのデザインを検索
第14回	デザイン制作（２）	インターネットでイメージごとのデザインを検索
第15回	デザイン制作（４）	インターネットでイメージごとのデザインを検索
第16回	デザイン制作（５）	インターネットでイメージごとのデザインを検索
第17回	自分のブランドのコンセプト立て	各社のブランドコンセプトを調べる
第18回	自分のブランドのロゴデザイン制作（１）	各社のブランドロゴを調べる
第19回	自分のブランドのロゴデザイン制作（２）	各社のブランドロゴを調べる
第20回	自分のブランドのイメージビジュアルデザイン制作（１）	キーワードの意味を掘り下げる
第21回	自分のブランドのイメージビジュアルデザイン制作（２）	キーワードの意味を掘り下げる
第22回	自分のブランドのイメージビジュアルデザイン制作（３）	キーワードの意味を掘り下げる
第23回	自分のブランドのイメージビジュアルデザイン制作（４）	キーワードの意味を掘り下げる
第24回	ネットショップ基礎知識	実際のネットショップを検索
第25回	ネットショップデザイン実制作（１）	実際のネットショップから有効な要素を抽出
第26回	ネットショップデザイン実制作（２）	実際のネットショップから有効な要素を抽出
第27回	ネットショップデザイン実制作（３）	実際のネットショップから有効な要素を抽出
第28回	ネットショップデザイン実制作（４）	実際のネットショップから有効な要素を抽出
第29回	ネットショップデザイン実制作（５）	実際のネットショップから有効な要素を抽出
第30回	ネットショップデザイン実制作（６）	実際のネットショップから有効な要素を抽出

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	ドレスデザイン		
講義コード	D656		
開講責任部署	ファッションデザインコース		
講義開講時期	後期	講義区分	実習
基準単位数	2.00	時間	60.00
代表時限	１時限	代表曜日	月曜日
学年・クラス	16D	自習時間	30
選択必修区分	選択		
代表担当教員	池上　慶子		

意義と目的

フォーマルドレス着用のマナー、ドレスコードについて

到達目標

ドレス製作、小物製作

方法

ドレーピングから縫製まで

評価方法

授業態度　20%
デザイン力　20%
作品　　40%
技術　　20%

留意事項

全員の出席を望む。
遅刻・欠席があると足並みが揃わないため進行が難しい。

教科書

書名1　著書名　　出版社　　書名2　　著書名　　出版社

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	デザイン画、細部への指導	デザインを決めてくる、資料集め
第2回	採寸、立体に向けての準備	
第3回	ビスチェ部分の立体裁断	
第4回	〃	ビスチェ部分の感性
第5回	スカート部分の立体裁断	
第6回	全体の立体裁断	やり残しの完成
第7回	〃	やり残しの完成
第8回	ドレス製作	楽しく早く縫う方法、ボーンの使い方
第9回	ドレス製作	楽しく早く縫う方法、ボーンの使い方
第10回	ドレス製作	楽しく早く縫う方法、ボーンの使い方
第11回	ドレス製作	楽しく早く縫う方法、ボーンの使い方
第12回	ドレス製作	楽しく早く縫う方法、ボーンの使い方
第13回	ドレス製作	楽しく早く縫う方法、ボーンの使い方
第14回	ドレス製作	楽しく早く縫う方法、ボーンの使い方
第15回	ドレス製作	楽しく早く縫う方法、ボーンの使い方
第16回	ドレス製作	完成に向けて足並みが揃うように
第17回	ドレス製作	完成に向けて足並みが揃うように
第18回	ドレス製作	完成に向けて足並みが揃うように
第19回	ドレス製作	完成に向けて足並みが揃うように
第20回	ドレス製作	完成に向けて足並みが揃うように
第21回	ドレス製作	完成に向けて足並みが揃うように
第22回	ドレス製作	完成に向けて足並みが揃うように
第23回	ドレス製作	完成に向けて足並みが揃うように
第24回	ドレス製作	完成に向けて足並みが揃うように
第25回	ドレス製作	完成に向けて足並みが揃うように
第26回	ドレス製作	完成に向けて足並みが揃うように
第27回	ドレス製作	完成に向けて足並みが揃うように
第28回	ドレス製作	提出の準備、感性
第29回	小物製作、ベール	参考資料を集める
第30回	リングピロー等	

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	プロダクトデザイン		
講義コード	D657		
開講責任部署	ファッションデザインコース		
講義開講時期	後期	講義区分	実習
基準単位数	2.00	時間	60.00
代表時限	１時限	代表曜日	火曜日
学年・クラス	16D	自習時間	30
選択必修区分	選択		
代表担当教員	渡邉　加奈		

意義と目的

商品の企画から販売までの工程を知るとともに、創造性と発信力を身につける。

到達目標

商品の企画ができる。商品製作ができる。販売促進方法を活用し販売することができる。実施後の分析と評価ができる。

方法

企画書製作など解説後実習します。プレゼン方法や評価法など指導します。

評価方法

課題６０％　発表２０％　授業態度２０％

留意事項

学んできたことを活かし、創造性豊かな発想を心がけてください。課題の積み重ねがあるため、授業に従い課題を終わらせ、先に進めてください。

教科書

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	商品企画とは 市場調査について	情報収集と分析
第2回	市場調査とターゲット設定	情報収集と分析
第3回	ターゲット設定とニーズの把握	情報収集と分析
第4回	商品企画	情報収集と分析
第5回	サンプル製作	技法研究
第6回	サンプル製作・試験販売 発表準備	発表準備
第7回	中間発表 評価	まとめ
第8回	改善点の修正 企画書の確定	製作計画
第9回	商品製作	商品製作
第10回	商品製作	商品製作
第11回	商品製作	商品製作
第12回	販売促進ツールの活用法	販促ツールの調査
第13回	商品の販売	販売準備
第14回	反省 課題分析	レポートにまとめる 発表準備
第15回	発表 まとめ	

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	フランス語Ⅱ		
講義コード	D658		
開講責任部署	ファッションデザインコース		
講義開講時期	後期	講義区分	演習
基準単位数	1.00	時間	30.00
代表時限	５時限	代表曜日	火曜日
学年・クラス	16D	自習時間	15
選択必修区分	選択		
代表担当教員	ペリエ　岩田　フロラン		

意義と目的

フランス語を崖性に理解

到達目標

フランス語で物事をシンプルに表現するために学生に基礎的なツールを提供

方法

毎週、レッスンの目的を説明してからクラースが始まります。次は教科書のレッスンのプレゼンテション。説明する事をいつもボオードに書きます。

評価方法

筆記テスト。ノートと教科書と日仏辞書は持ち込みOK. テストで出る問題は：日本語の文書をフランス語に訳する事とフランス語の質問にフランス語で答えることです。

留意事項

バラバラのシートよりもノートを使ってください。毎週日つけとレッスンの内容を書き忘れないよに。

教科書

書名1 F comme français（前期と同じ教科書です）著書名　　出版社　　書名2　　著書名　　出版社

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	補正テストと復習	
第2回	補正テストと復習	
第3回	補正テストと復習	
第4回	家族の語彙と所有形容詞。使い方練習	
第5回	先週のまとめ。avoir動詞と否定形	
第6回	先週のまとめ。他の動詞の否定形	
第7回	先週のまとめ。品質形容詞と名刺の生と数。使い方練習。	
第8回	先週のまとめ。カフェで注文する。使い方練習。	
第9回	先週のまとめ。移動する動詞と前置詞の使い方。練習	
第10回	先週のまとめ。時間と天気の言い方。質問答え練習	
第11回		
第12回	先週のまとめ。video Bonjour Paris, leçon 5 et 6	
第13回		
第14回		
第15回		

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	中国語Ⅱ		
講義コード	D659		
開講責任部署	ファッションデザインコース		
講義開講時期	後期	講義区分	演習
基準単位数	1.00	時間	30.00
代表時限	５時限	代表曜日	月曜日
学年・クラス	16D	自習時間	15
選択必修区分	選択		
代表担当教員	陳　晨		

意義と目的

語学力を生かして社会貢献を行うこと、また自分自身を磨くことを心がけてみましょう。中国語の学習は、英語より差がつきやすく、将来のキャリアデザインに役立つことが大いに期待されています。

到達目標

初期段階における発音のコツ（アクセント・発声）、基本表現（日常会話・旅行会話）を習得すること、また中国語検定準４級に準ずるレベルに到達することを目指しましょう。

方法

教材を中心に学習する予定です。授業の前半は講義形式で、後半から学生さんからの朗読、会話練習、スピーチ発表などの演習形態に変わります。

評価方法

１）期末筆記試験（９０％）　　２）授業態度（１０％）

留意事項

原則として前期・後期両方の履修登録が望まれます。（学習1年後、中国語検定準４級に準ずるレベルに到達する見込み）。また、教科書の購入と持参は必須です。

教科書

書名1 中国語の１年め 著書名　緒方昭・小林光考編　出版社 白水社 書名2　　著書名　　出版社

参考文献

教科書別冊の「自習単語帳」を自主的に使うこと。

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	オリエンテーション・前期の復習	前期内容についての復習が望まれる
第2回	第７課　一緒に遊びに出かける。（時刻・曜日・日付の表現）	発音を意識して、放課後の復習とCDを聞くことが望まれる。
第3回	第８課　花火は何時から。（前置詞１・完了表現・動詞の重ね型）	発音を意識して、放課後の復習とCDを聞くことが望まれる。
第4回	第９課　学園祭。（助動詞・経験表現・動量詞）	発音を意識して、放課後の復習とCDを聞くことが望まれる。
第5回	第１０課　カラオケに行く。（様態補語・前置詞２）	発音を意識して、放課後の復習とCDを聞くことが望まれる。
第6回	第１１課　中国の映画を見る。（結果補語・進行形）	発音を意識して、放課後の復習とCDを聞くことが望まれる。
第7回	第１２課　帰国を前にして。（方向補語・比較の表現）	発音を意識して、放課後の復習とCDを聞くことが望まれる。
第8回	第１３課　空港で。（可能補語・二重目的語）	発音を意識して、放課後の復習とCDを聞くことが望まれる。
第9回	中国語検定特別講義１：補語についてのまとめ学習	配布されるプリントを中心に、全体的な復習をすること。
第10回	中国語検定特別講義２：助動詞についてのまとめ学習	配布されるプリントを中心に、全体的な復習をすること。
第11回	中国映画鑑賞②	鑑賞後の感想文（日本語）を提出すること
第12回	全体の復習①（前期内容）	配布されるプリントを中心に、全体的な復習をすること。
第13回	全体の復習②（後期内容）	配布されるプリントを中心に、全体的な復習をすること。
第14回	全体の復習と模擬テスト１	配布されるプリントを中心に、全体的な復習をすること。
第15回	全体の復習と模擬テスト２	配布されるプリントを中心に、全体的な復習をすること。

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	英語コミュニケーションⅣ		
講義コード	D660		
開講責任部署	ファッションデザインコース		
講義開講時期	後期	講義区分	演習
基準単位数	1.00	時間	30.00
代表時限	４時限	代表曜日	火曜日
学年・クラス	16D	自習時間	15
選択必修区分	選択		
代表担当教員	ステファン　レポールド		

意義と目的

The aim of the course is to balance a communicative approach to language learning in order to best prepare students for the Test of English as a Foreign Language (TOEFL)

到達目標

Completion of this course will result in students knowing how to converse in both formal and informal English, about a variety of topics.

方法

Students will be presented with the materials and language tools to engage in discussions about all matters in personal and professional life.

評価方法

Quizzes 50%　Final Conversation Exam 50%

留意事項

Students must come on time, be prepared (textbooks, notebook, pen), and make an effort.

教科書

The English Course: Speaking Book 1 (First Edition)
Author: Gary Ireland; Kevin Murphy; Max Woolerton
Publisher: The English Company
ISBN978-49902962-2-3

参考文献

TOEFL materials will be provided by the Instructor

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	Unit 1 – Introductions Formal and Informal Introductions	
第2回	Self-introductions Introducing other people	
第3回	Unit 2- Starting conversations Conversational openings-Making small talk	
第4回	Unit 3 – Developing conversations Asking appropriate questions	
第5回	Short Conversation Quiz#1	
第6回	Rebounding questions Responding to questions	
第7回	Unit 4 – Making invitations and suggestions Review of Units 1-4	
第8回	Unit 5 - Likes/dislikes,preferences	
第9回	Expressing emotions and feelings	
第10回	Unit 6 – Requests Asking and Offering to do something	
第11回	Unit 7 – Stating Opinions Agreeing and Disagreeing	
第12回	Short Conversation Quiz #2	
第13回	Unit 8 – Asking for and giving advice Review of Units 5-8	
第14回	Final conversation test practice	
第15回	Final Short Conversation	

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	情報処理演習Ⅳ		
講義コード	D661		
開講責任部署	ファッションデザインコース		
講義開講時期	後期	講義区分	演習
基準単位数	1.00	時間	30.00
代表時限	４時限	代表曜日	月曜日
学年・クラス	16D	自習時間	15
選択必修区分	選択		
代表担当教員	服部　ミドリ		

意義と目的

実社会においては、様々な場面で情報を視聴覚的に表現する技術が要求される。この授業では、図形処理能力やデザイン能力を習得し、総合的プレゼンテーション出来る能力を養う。

到達目標

①画像データの処理・加工・編集が出来る。②画像データを更に展開、修正・合成・デザインが出来る。③企画から表現まで、総合的なデザインが出来る。

方法

グラフィック系ソフト、Photoshop&Illustratorを使用し、レクチャー形式で基本操作を理解。その後、企画からそれらを成果物に仕上げる迄、一連の流れをマスターする。

評価方法

実技テスト(50%)、製作作品(40%)、授業態度(10%)

留意事項

実技主体の授業の為、最初のレクチャーでは欠席しない様に気を付けて下さい。実技試験ではメモ持参可能、各自メモ取りの癖付けを。質疑応答し易い環境です。

教科書

書名1　著書名　　出版社　　書名2　　著書名　　出版社

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	授業概要、コンピュータ概論、グラフィックソフト詳細	事前：メモ持参、グラフィックソフト研究
第2回	Photoshop基本操作①	関連：諸機能を確認後、各自メモを取る
第3回	Photoshop基本操作②	関連：諸機能を確認後、各自メモを取る
第4回	Photoshop基本操作③	関連：諸機能を確認後、各自メモを取る
第5回	Photoshop基本操作④	関連：諸機能を確認後、各自メモを取る
第6回	企画制作（Photoshop）応用課題Ⅰ	事前：課題の為の資料・アイデア収集
第7回	企画制作（Photoshop）応用課題Ⅱ	事前：課題の為の資料収集・デザイン企画
第8回	企画制作（Photoshop）応用課題Ⅲ	関連：企画整理・作品完成度の向上
第9回	（Photoshop）復習	事後：今迄の授業内容メモ確認、データ整理
第10回	（Photoshop）確認実技	関連：今迄の授業内容の総合理解、実技まとめ
第11回	Illustrator基本操作①	事前：メモ持参、グラフィックソフト研究
第12回	Illustrator基本操作②	関連：諸機能を確認後、各自メモを取る
第13回	Illustrator基本操作③	関連：諸機能を確認後、各自メモを取る
第14回	Illustrator基本操作④	関連：諸機能を確認後、各自メモを取る
第15回	（Photoshop,Illustrator）復習	関連：今迄の授業内容の総合理解、実技まとめ

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	技能検定Ｉ		
講義コード	D701		
開講責任部署	ファッションデザインコース		
講義開講時期	前期	講義区分	
基準単位数	1.00	時間	0.00
代表時限		代表曜日	
学年・クラス	16D	自習時間	
選択必修区分	選択		
代表担当教員	コース主任		

意義と目的

到達目標

方法

評価方法

留意事項

教科書

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	技能検定Ⅱ		
講義コード	D702		
開講責任部署	ファッションデザインコース		
講義開講時期	前期	講義区分	
基準単位数	1.00	時間	0.00
代表時限		代表曜日	
学年・クラス	16D	自習時間	
選択必修区分	選択		
代表担当教員	コース主任		

意義と目的

到達目標

方法

評価方法

留意事項

教科書

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	技能検定Ⅲ		
講義コード	D703		
開講責任部署	ファッションデザインコース		
講義開講時期	前期	講義区分	
基準単位数	1.00	時間	0.00
代表時限		代表曜日	
学年・クラス	16D	自習時間	
選択必修区分	選択		
代表担当教員	コース主任		

意義と目的

到達目標

方法

評価方法

留意事項

教科書

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	インターンシップⅡ		
講義コード	D704		
開講責任部署	ファッションデザインコース		
講義開講時期	前期	講義区分	
基準単位数	2.00	時間	90.00
代表時限		代表曜日	
学年・クラス	16D	自習時間	0
選択必修区分	選択		
代表担当教員	渡邉　加奈		

意義と目的

専門科目及び一般教養科目をいかして、希望する専門職での企業研修を行い、仕事についての理解を深める。

到達目標

実習をとおして職業人としての意識を高めることができる。
将来の目標を持つことができる。

方法

専門職での企業実習を、実質10日間行う。

評価方法

認定

留意事項

将来どのように働くのかを意識しながら実習に取り組む。

教科書

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	技能検定Ｉ		
講義コード	D751		
開講責任部署	ファッションデザインコース		
講義開講時期	後期	講義区分	
基準単位数	1.00	時間	0.00
代表時限		代表曜日	
学年・クラス	16D	自習時間	
選択必修区分	選択		
代表担当教員	コース主任		

意義と目的

到達目標

方法

評価方法

留意事項

教科書

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	技能検定Ⅱ		
講義コード	D752		
開講責任部署	ファッションデザインコース		
講義開講時期	後期	講義区分	
基準単位数	1.00	時間	0.00
代表時限		代表曜日	
学年・クラス	16D	自習時間	
選択必修区分	選択		
代表担当教員	コース主任		

意義と目的

到達目標

方法

評価方法

留意事項

教科書

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	技能検定Ⅲ		
講義コード	D753		
開講責任部署	ファッションデザインコース		
講義開講時期	後期	講義区分	
基準単位数	1.00	時間	0.00
代表時限		代表曜日	
学年・クラス	16D	自習時間	
選択必修区分	選択		
代表担当教員	コース主任		

意義と目的

到達目標

方法

評価方法

留意事項

教科書

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	生活文化海外セミナーⅠ		
講義コード	D754		
開講責任部署	ファッションデザインコース		
講義開講時期	後期	講義区分	演習
基準単位数	2.00	時間	0.00
代表時限		代表曜日	
学年・クラス	16D	自習時間	
選択必修区分	選択		
代表担当教員	指導教員		

意義と目的

到達目標

方法

評価方法

留意事項

教科書

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	生活文化海外セミナーⅡ		
講義コード	D755		
開講責任部署	ファッションデザインコース		
講義開講時期	後期	講義区分	演習
基準単位数	2.00	時間	0.00
代表時限		代表曜日	
学年・クラス	16D	自習時間	
選択必修区分	選択		
代表担当教員	指導教員		

意義と目的

到達目標

方法

評価方法

留意事項

教科書

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	特殊研究		
講義コード	D756		
開講責任部署	ファッションデザインコース		
講義開講時期	後期	講義区分	演習
基準単位数	2.00	時間	60.00
代表時限		代表曜日	
学年・クラス	16D	自習時間	30
選択必修区分	選択		
代表担当教員	渡邉　加奈		

意義と目的

外部のファッションショーやコンテストに応募し、デザインの発想や創造力を試す。

到達目標

企画から実施までの工程を計画的に実践することができる。
入選したデザイン画や企画に基づいて作品製作ができる。

方法

行事や実物作品の審査日に合わせて、集中的に製作を行う。

評価方法

認定

留意事項

スケジュール管理に注意し、計画的に進めましょう。

教科書

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習